

第57回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 次第

日時 令和4年4月26日(火)
16時30分～18時00分
会場 庁議室

1 開会

2 議事

新型コロナウイルス感染症 現状の分析・評価と今後の対応

3 閉会

配布資料一覧

- 1 出席者名簿
- 2 ご議論いただきたいポイント
- 3 配席図
- 4 埼玉県新型コロナウイルス専門家会議設置要綱
- 5 説明資料1 PCR検査等の現状
- 6 説明資料2 陽性率の推移
- 7 説明資料3 陽性者数と退院・療養終了者数の推移 等
- 8 説明資料4 感染経路推移
- 9 説明資料5 即応病床使用率の推移 等
- 10 説明資料6 レベル判断のための指標
- 11 説明資料7 その他参考指標
- 12 説明資料8 ファーストタッチ、入院・宿泊療養施設調整、自宅療養者の健康観察の状況
- 13 説明資料9 発症日別分析 等

- 14 説明資料 10 人流の状況について
- 15 説明資料 11 COVID-19 のゲノム分析状況 等
- 16 説明資料 12 年齢別感染者の推移
- 17 説明資料 13 年齢別入院患者数推移 等
- 18 説明資料 14 平均入院日数の状況について 等
- 19 説明資料 15 週別陽性者・死者数 等
- 20 説明資料 16 基本的な感染予防対策の推進 等
- 21 説明資料 17 新型コロナワクチンの資料 等
- 22 説明資料 18 公立学校の感染状況 等
- 23 説明資料 19 高齢者施設における感染発生状況 等
- 24 説明資料 20 ゴールデンウィーク期間中の発熱時における医療提供体制について
- 25 説明資料 21 ゴールデンウィーク期間中の検査体制の強化について
- 26 説明資料 22 さいたまスーパーアリーナにおける主なイベントの感染状況 等
- 27 説明資料 23 観光応援キャンペーン・Go To Eat 食事券実績 等

埼玉県新型コロナウイルス専門家会議出席者名簿

【委員（敬称略 五十音順）】

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長（WEB 参加）
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授（WEB 参加）
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会 会長（WEB 参加）
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長（WEB 参加）
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB 参加）
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB 参加）
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長（WEB 参加）
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB 参加）
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会 会長（WEB 参加）

【県側参加者】

大野 元裕	知事
三須 康男	危機管理防災部長（WEB 参加）
金子 直史	福祉部長（WEB 参加）
山崎 達也	保健医療部長
星 永進	保健医療部 参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長（WEB 参加）
村田 暁俊	都市整備部長（WEB 参加）
石井 貴司	副教育長（WEB 参加）
岸本 剛	衛生研究所 副所長

ご議論いただきたいポイント

埼玉県の実況分析・評価を踏まえた今後の対応について

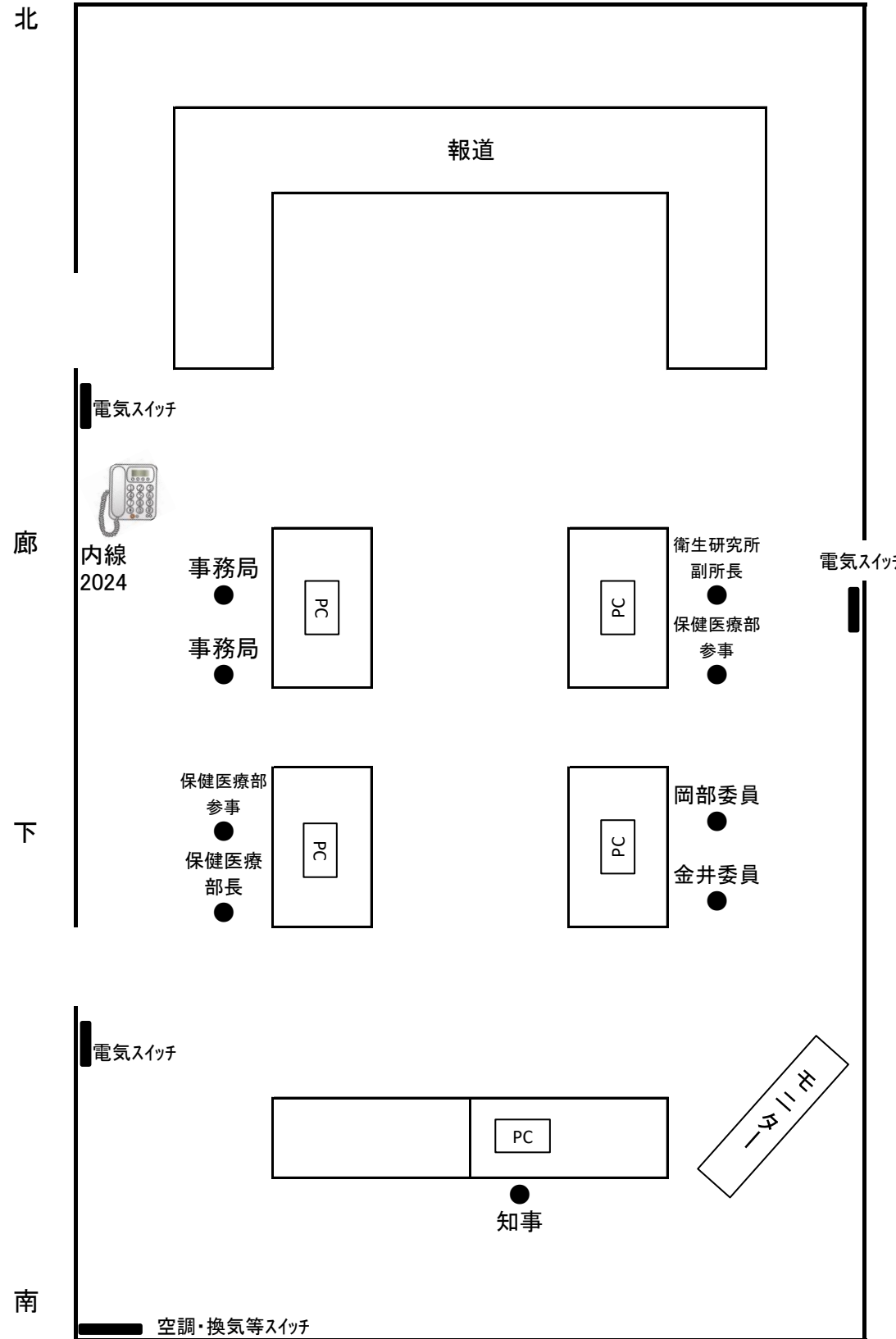
ア 現状の分析・評価

イ 感染防止対策等について（最近の状況など）

ウ ゴールデンウィークの診療・検査体制について

エ 今後の経済活動について

庁議室配席図



埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議設置要綱

(目的)

第1条 新型コロナウイルス感染症等の発生状況等を踏まえ、本県の実情に合った対策を検討するために、県内外の専門家からなる「埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議」(以下「専門家会議」という。)を設置する。

(項目)

第2条 専門家会議は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 新型コロナウイルス感染症等に関する県の医療体制に関すること
- (2) 今後取り組むべき感染拡大防止策に関すること
- (3) その他必要とする項目に関すること

(組織)

第3条 専門家会議は、別表1、2に掲げるメンバーをもって構成する。

2 主宰は知事が行う。

3 主宰に事故あるとき又は主宰が欠けたときは、主宰があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第4条 専門家会議は主宰が招集し、意見を聴く項目を提示し、会の進行を行う。

2 新型コロナウイルス感染症特別措置法に基づく措置等、感染拡大防止策のうち、県内経済に重大な影響を及ぼす項目に対する意見を聴取する場合には、別表1に加え別表2のメンバーを招集し会議を開催する。

(会議の公開・非公開)

第5条 専門家会議は原則非公開とする。

(事務局)

第6条 専門家会議の庶務は、保健医療部保健医療政策課において処理する。ただし、別表2のメンバーに係る庶務は、産業労働部産業労働政策課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に関し必要な事項は、主宰が別に定める。

附則

この要綱は、令和2年3月2日から施行する。

附則

この要綱は、令和3年1月27日から施行する。
附則
この要綱は、令和3年4月8日から施行する。
附則
この要綱は、令和3年4月30日から施行する。
附則
この要綱は、令和3年5月31日から施行する。

別表 1 (第 3 条関係) (五十音順)

岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授 ＜内科学（感染症・呼吸器）＞
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授 ＜医療福祉学研究科 保健医療学専攻 看護学分野＞ 感染症看護専門看護師
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター教授 ＜感染症科・感染制御科＞

別表2（第3条関係）（五十音順）

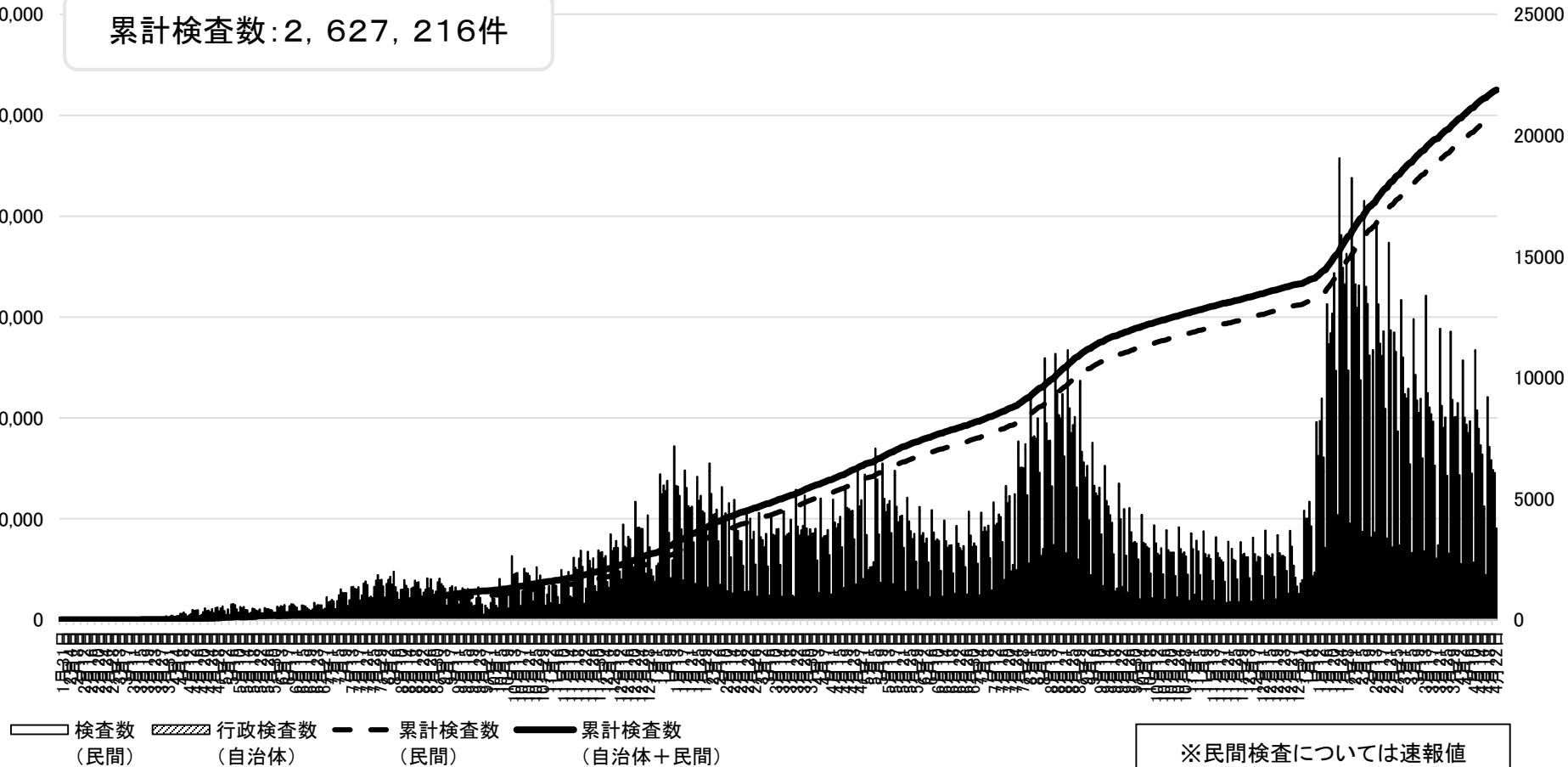
池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会会長
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会会長
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会会長

現状の分析・評価

PCR検査等の現状

資料 1

累計検査数: 2, 627, 216件

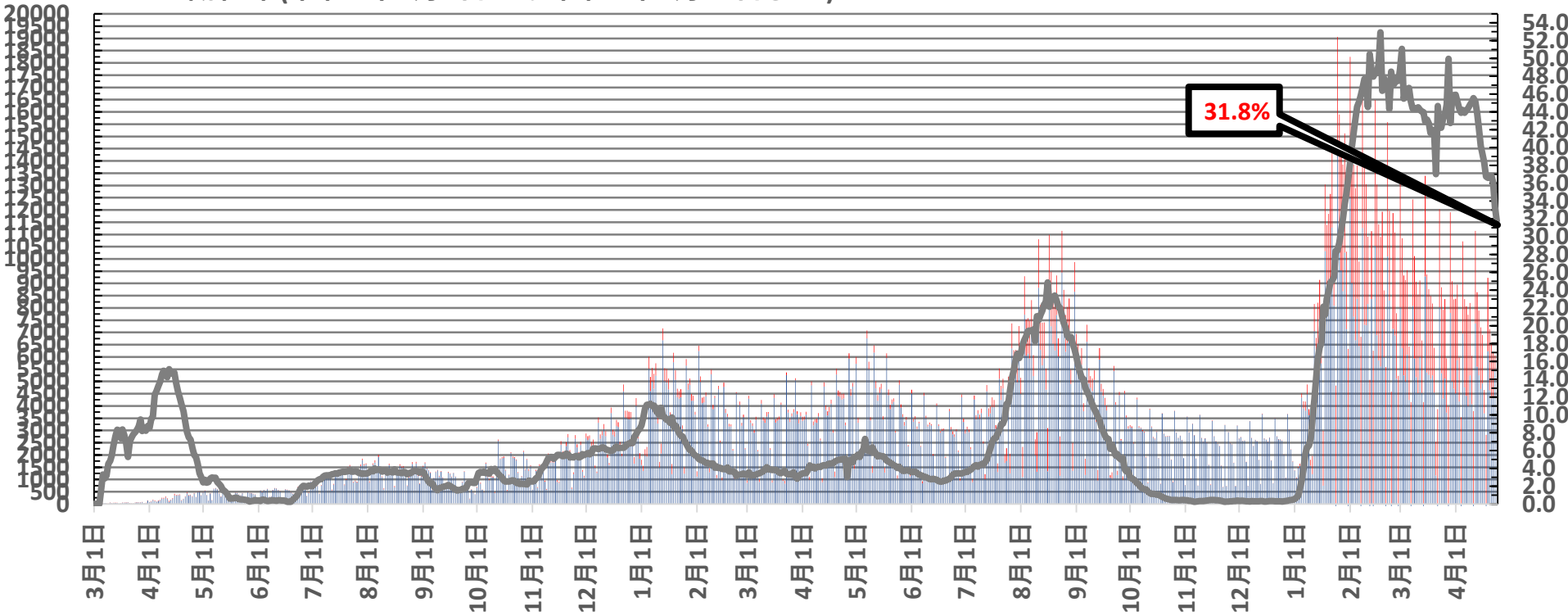


陽性率の推移

資料 2

陽性率(令和2年3月1日から令和4年4月24日まで)

■ 陰性 ■ 陽性 — 移動平均



※陽性率は、民間検査の検査人数が報告されるまでのタイムラグなど日々の結果のばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、移動平均の値を使用。

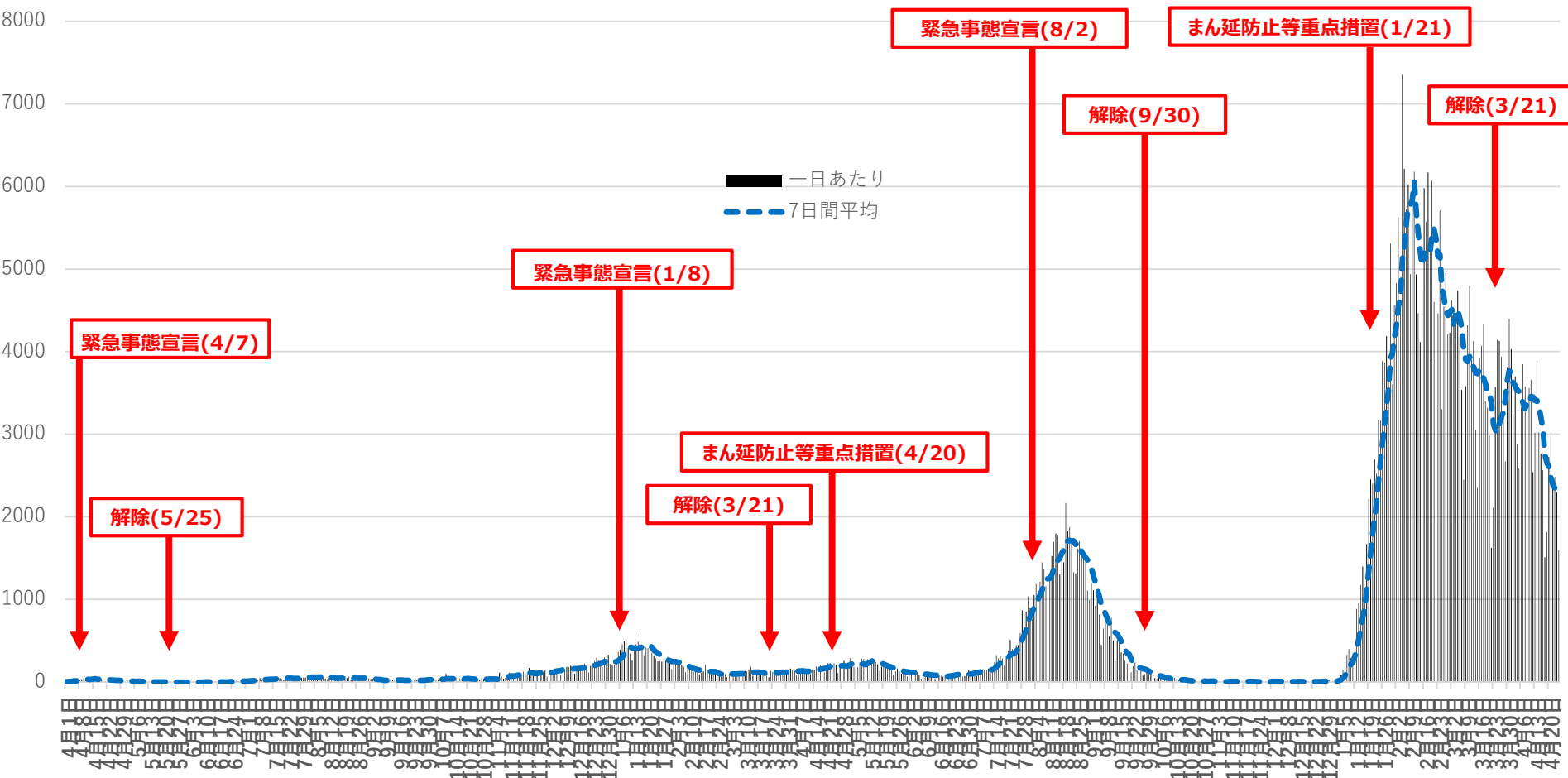
「過去7日間に判明した陽性者数」を「過去7日間に判明した陽性者数と陰性者数の和」で除した値を、その日の「陽性率(移動平均)」としている。

※民間検査分は速報値であるため、遡って数値を修正する場合がある。

※陰性確認のための検査は含まれていない。

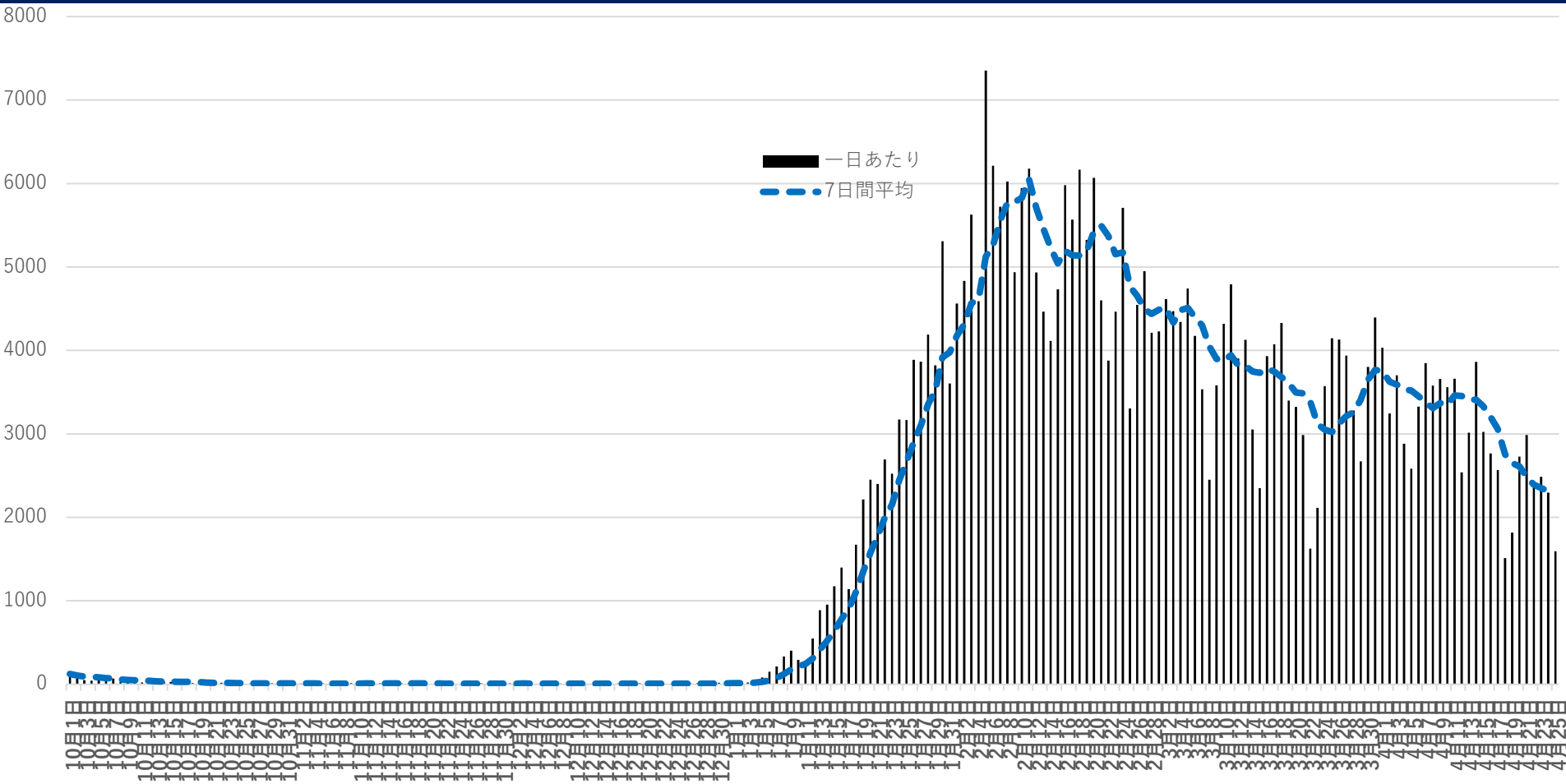
陽性者数の推移(日別)(2020.4.1~)

資料3



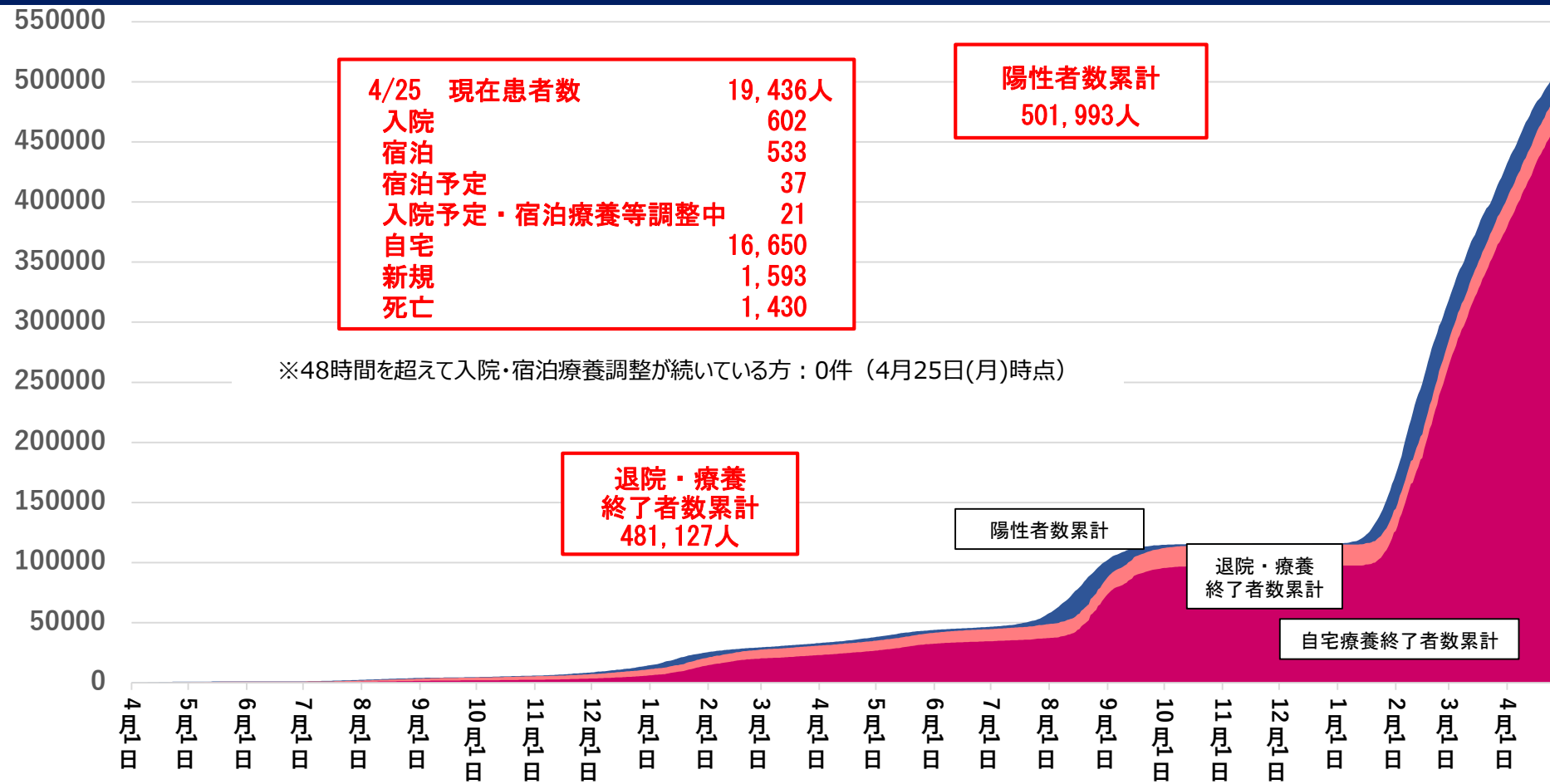
陽性者数の推移(日別)(2021.10.1~)

資料 3 - 2



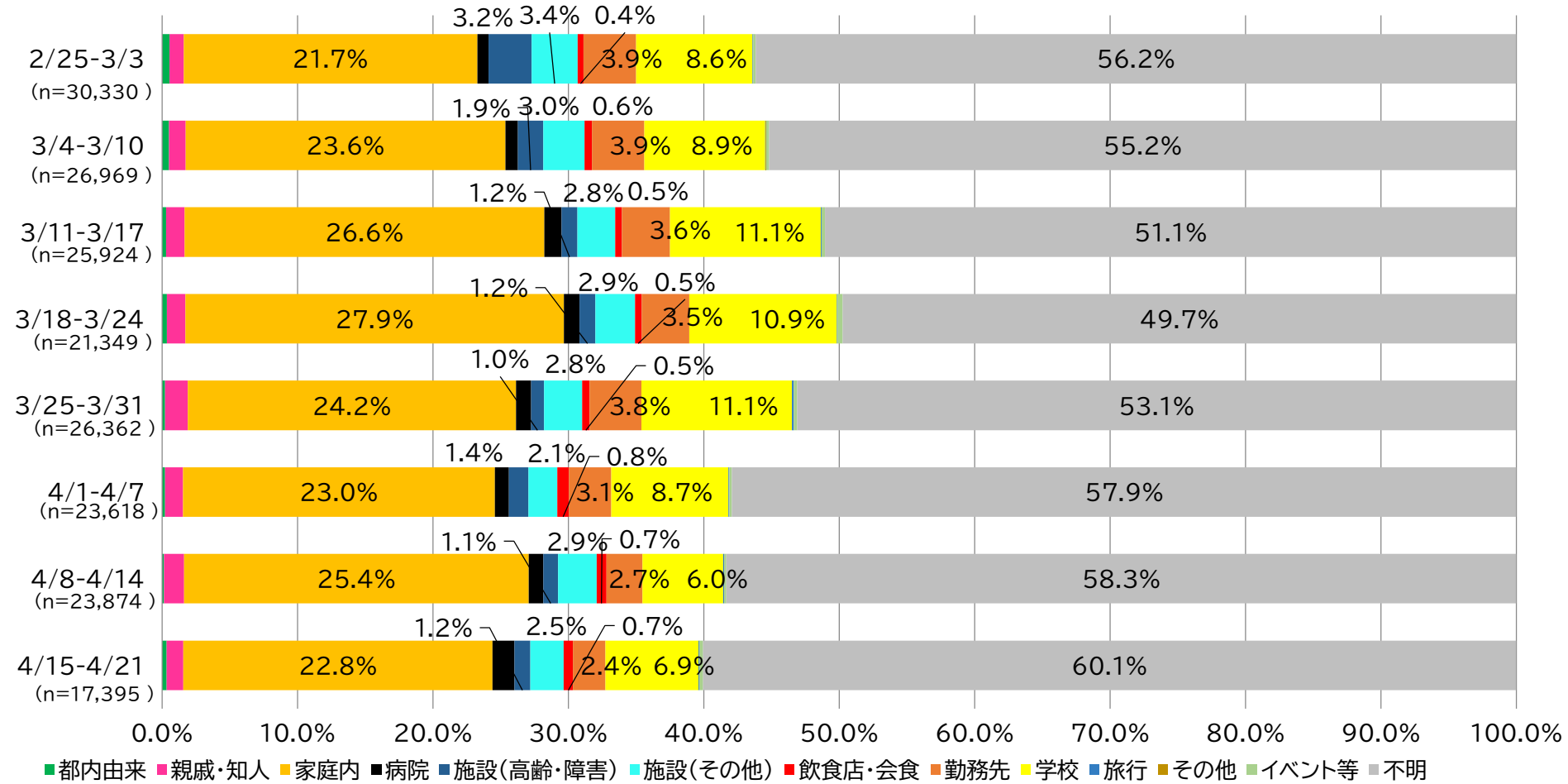
陽性者数と退院・療養終了者数の推移(累計)

資料3-3



感染経路推移(発表日ベース)【構成比】

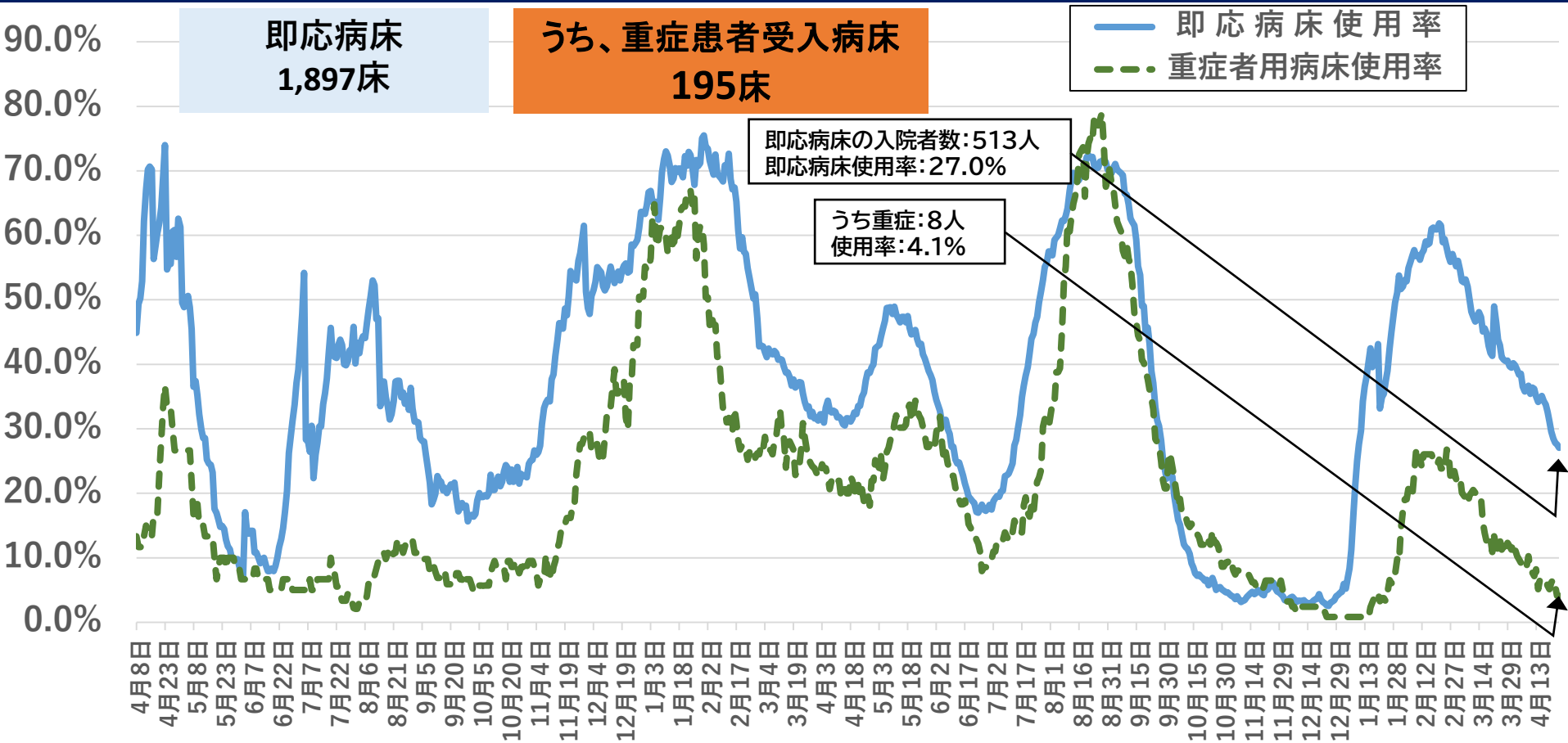
資料4



※①積極的疫学調査の重点化②さいたま市、越谷市発表分の詳細情報が未達なため感染経路「不明」の割合が大きくなっている。

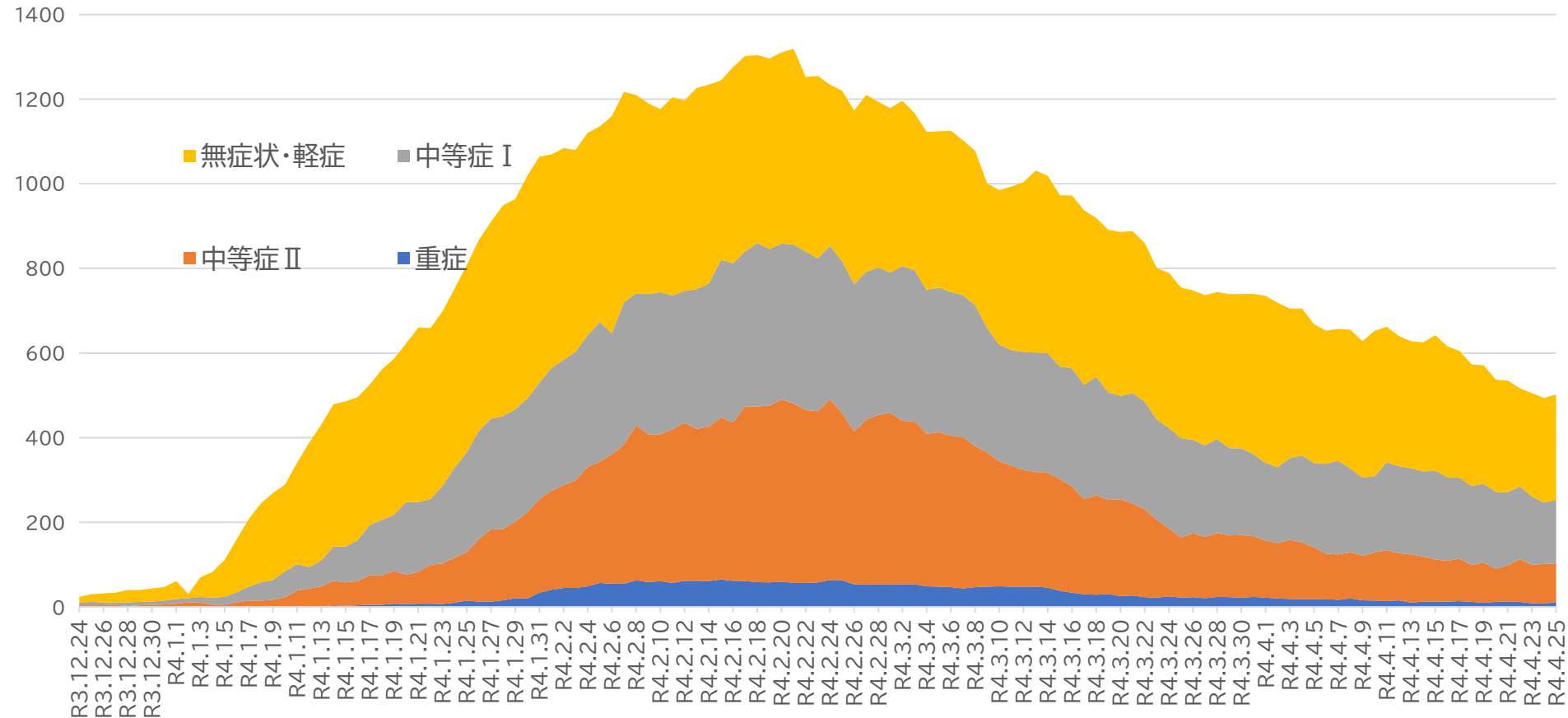
即応病床使用率の推移

資料 5



入院患者症状別推移

資料 5 - 2



※MCSを通じた医療機関からの報告を集計したもの ※集計する時点によって、HP上で公表している数値と異なる場合がある

レベル判断のための指標(4月25日現在)

資料6

二次保健医療圏	移行の目安		南部		南西部	東部			さいたま	県央	川越比企			西部	利根		北部		秩父	埼玉県全体
	レベルⅡ	レベルⅢ																		
確保病床 利用率 (入院者数/ 確保病床数)	確保病床 利用率 20%以上 (医療圏 ごと)	確保病床 利用率 50%超	34.1%		33.3%		25.1%		30.7%	17.1%		30.0%		23.6%		16.2%		27.7%	33.3%	27.0%
			(84人/ 246床)		(57人/ 171床)		(56人/ 223床)		(104人/ 339床)	(29人/ 170床)		(61人/ 203床)		(43人/ 198床)		(32人/ 198床)		(39人/ 141床)	(8人/ 24床)	(513人/ 1,897床)
重症病床 利用率 (入院者数/ 重症病床数)		重症病床 利用率 50%超	12.5%		4.8%		14.3%		3.3%	0.0%		3.8%		0.0%		0.0%		0.0%	0.0%	4.1%
			(4人/ 32床)		(1人/ 21床)		(1人/ 7床)		(1人/ 30床)	(0人/ 8床)		(1人/ 26床)		(0人/ 38床)		(0人/ 18床)		(0人/ 13床)	(0人/ 2床)	(8人/ 195床)
保健所名			南部	川口市	朝霞	春日部	越谷市	草加	さい たま市	鴻巣	東松山	坂戸	川越市	狭山	加須	幸手	熊谷	本庄	秩父	埼玉県 全体
10万人 あたり 新規陽性者数	15人以上 (保健所 ごと)		328.0 人	252.0 人	192.3 人	158.3 人	221.2 人	225.3 人	234.5 人	207.8 人	184.5 人	223.7 人	168.2 人	184.1 人	176.3 人	189.0 人	201.1 人	201.8 人	174.4 人	221.8 人
新規陽性者数 先週比	先週比 1.0超 (保健所 ごと)		0.765	0.823	0.654	0.583	0.823	0.869	0.838	0.872	0.749	1.068	0.849	0.875	1.017	0.755	0.954	0.704	0.864	0.844
陽性率	5%以上		31.8%																	

※地域ごとの感染状況を把握するため、病床利用率については入院医療の提供体制を整備する地域の単位である二次保健医療圏ごと、新規陽性者数については地域の感染症対策の基礎となる保健所ごとの指標となっている。
 ※この指標における「確保病床」とは、厚生労働省の定義に合わせており、現在のフェーズにおける即応病床数ではなく、最終フェーズ（フェーズ4）における確保病床数となっている。

その他参考指標の推移

資料7

項目	4月11日	4月18日	前週比較	4月25日	前週比較	備考
確保病床の使用率	36.4%	33.7%	改善	27.0%	改善	確保病床：1,897床
重症確保病床の使用率	7.7%	6.7%	改善	4.1%	改善	重症確保病床：195床
入院率	3.1%	3.5%	改善	3.1%	悪化	
重症者数（1週間平均）	17.6人	13.1人	改善	10.4人	改善	
中等者数（1週間平均）	340.6人	332.3人	改善	285.7人	改善	
自宅療養者数及び療養先等調整中の合計値（1週間人口10万人当たり）	361.6人	277.9人	改善	249.3人	改善	
陽性率（1週間平均）	45.6%	38.4%	改善	31.8%	改善	最新値は4月24日の数値
新規陽性者数（1週間人口10万人当たり）	329.9人	262.7人	改善	221.8人	改善	
感染経路不明割合	69.3%	69.3%	-	64.2%	改善	最新値は4月24日の数値
（新規陽性者数）今週先週比	0.979	0.796	改善	0.844	悪化	
実効再生産数	0.994	0.937	改善	0.953	悪化	計算式=(直近7日間の新規陽性者数/その前の7日間の新規陽性者数)^(2※/7日)※平均世代時間を2日と仮定"

感染状況1都3県比較（0425時点）

資料7-2

	医療提供体制などの負荷				監視体制	感染の状況		
	病床のひっ迫具合			療養者数 (10万人当たり)	PCR陽性率	新規報告数 (1週間人口 10万人当たり)	直近1週間と 先週1週間の 比較	感染経路 不明割合
	病床全体	うち重症者用病床	入院率					
埼玉県	23.3% (513/2,202)	3.4% (8/237)	3.1%	264.8人	31.8%	221.8人	0.844	64.2%
東京都	24.3% (1,757/7,229)	20.4% (300/1,468)	2.3%	560.9人	23.2%	272.5人	0.792	64.1%
神奈川県	21.1% (527/2,500)	9.6% (26/270)	2.6%	222.4人	公表停止	215.3人	0.758	89.6%
※4/19時点 千葉県	21.0% (390/1,858)	4.5% (9/179)	2.2%	285.1人	29.5%	234.9人	0.803	非公表

※各自治体HP等による ※病床使用率の分母の病床数は各自治体の最大確保病床を計上している

◎ ファーストタッチ（発生届に基づく陽性者への最初の連絡）

令和4年4月25日時点

県内全保健所が翌日までに実施している。

◎ 入院並びに宿泊療養施設入所調整の状況

入院予定・宿泊療養等調整中 21人（前日比 -1人）

（当日17時時点で把握しているため、夕方から多くなるファーストタッチが17時直前で終了したものなどは調整中となり、ボトルネックとなっている訳ではない。）

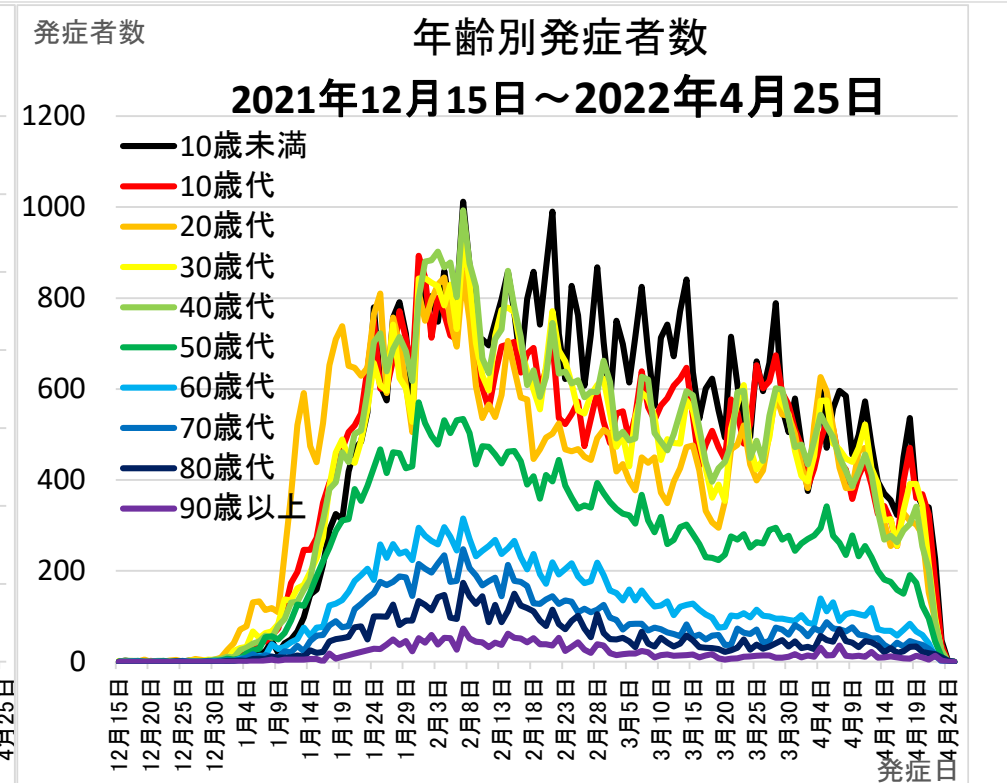
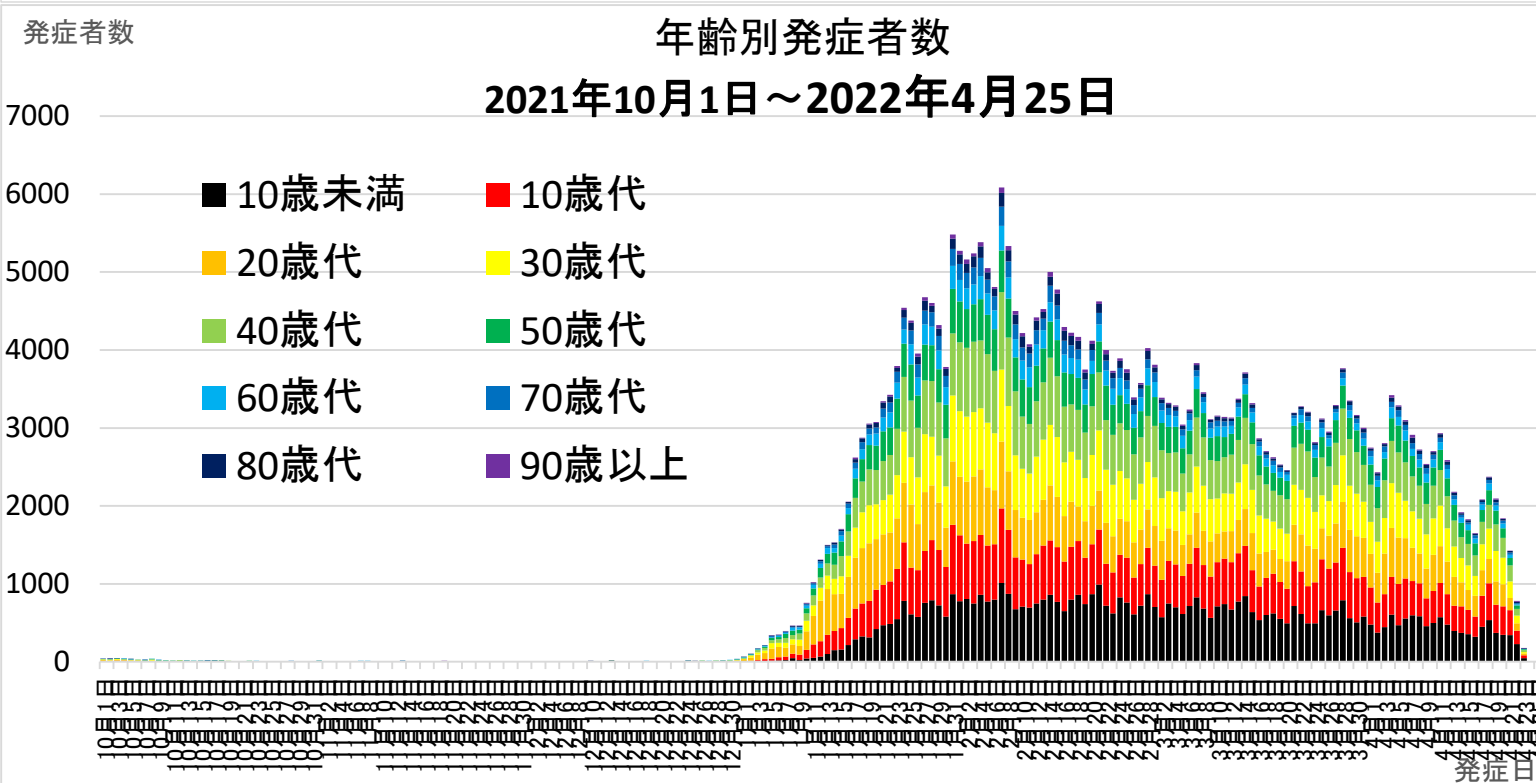
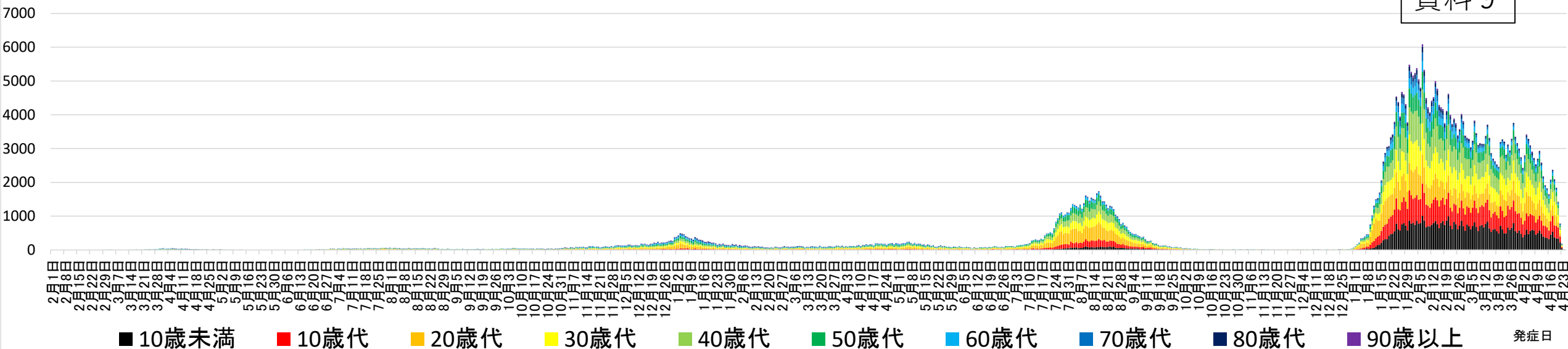
◎ 自宅療養者の健康観察の状況

健康観察の主体	自宅療養者の 合計	(前日比)	健康観察の方法（内訳）				備考
			My Her-sys	自動架電	直接架電	メール	
保健所	1,629	- 34	84	36	1,121	388	肥満などのリスクの高い患者については、一日2回の健康観察を実施している。
協力医療機関	1,287	+ 546	77	7	1,203	-	健康観察を療養者全員に一日2回実施している
支援センター	13,489	+ 948	12,610	469	410	-	健康観察を療養者全員に一日1回実施している 支援センター応答率100%
川口市独自の 民間委託	303	- 3	-	-	303	-	肥満などのリスクの高い患者については、一日2回の健康観察を実施している。
合計	16,708	+ 1,457	12,771	512	3,037	388	

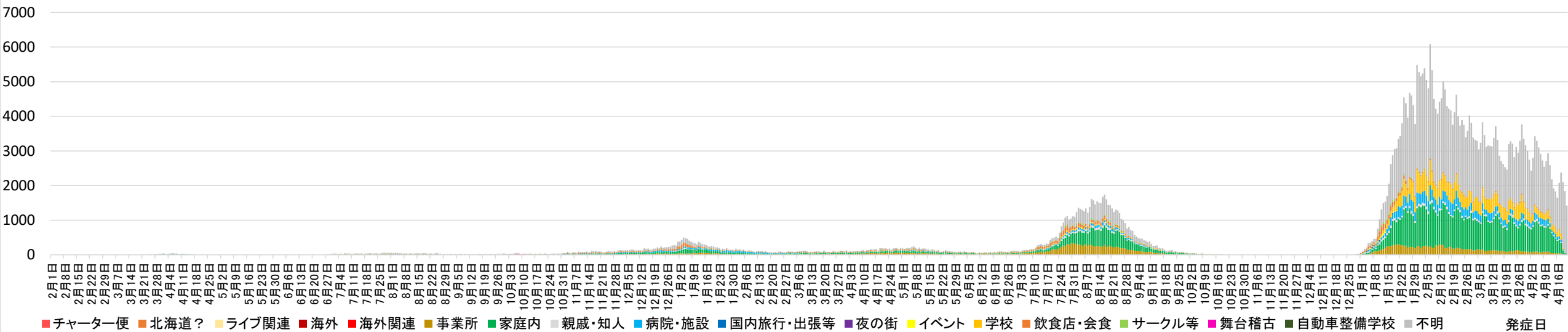
※広義の自宅療養者数(宿泊療養予定+入院予定・宿泊療養等調整中+自宅療養)

年齢別発症者数(2020年2月1日～2022年4月25日)

資料 9



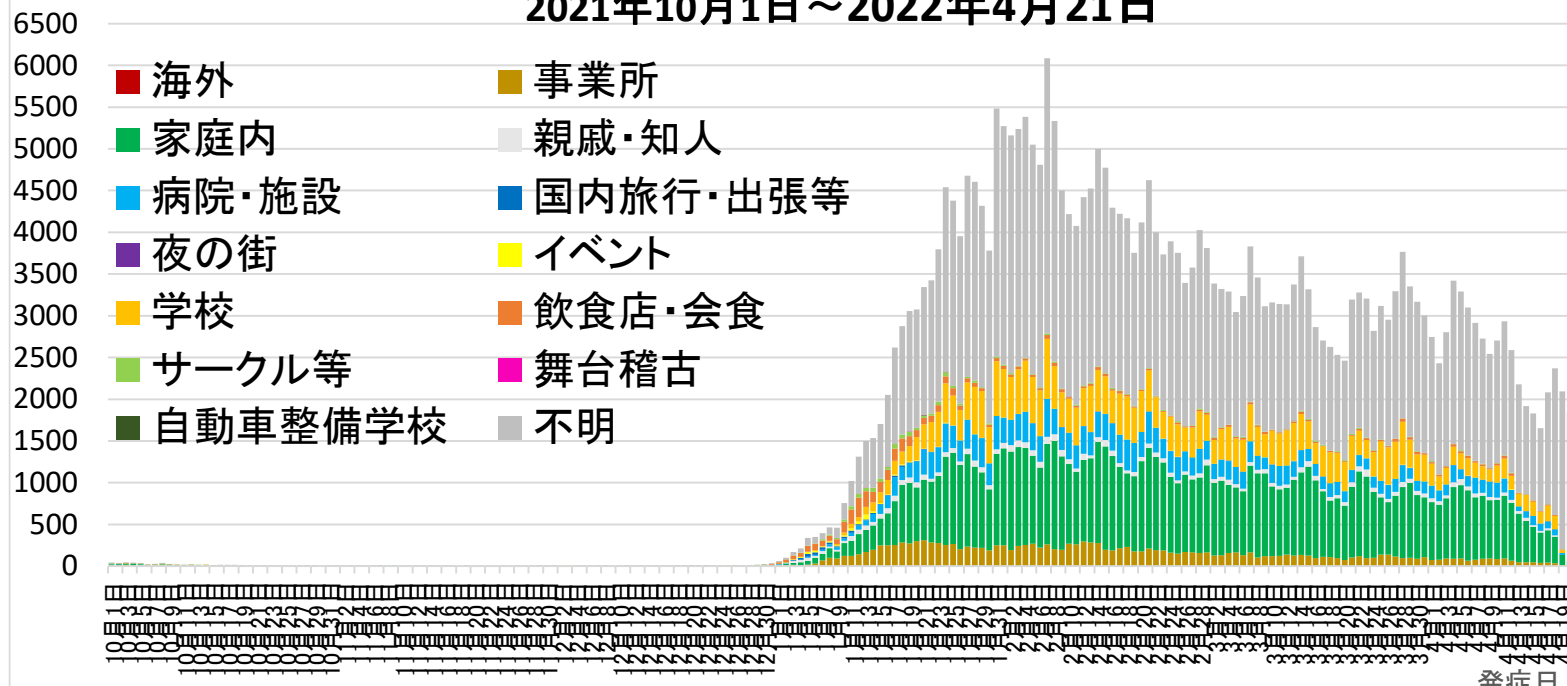
感染原因別発症者数(2020年2月1日～2022年4月21日)



発症者数

感染原因別発症者数

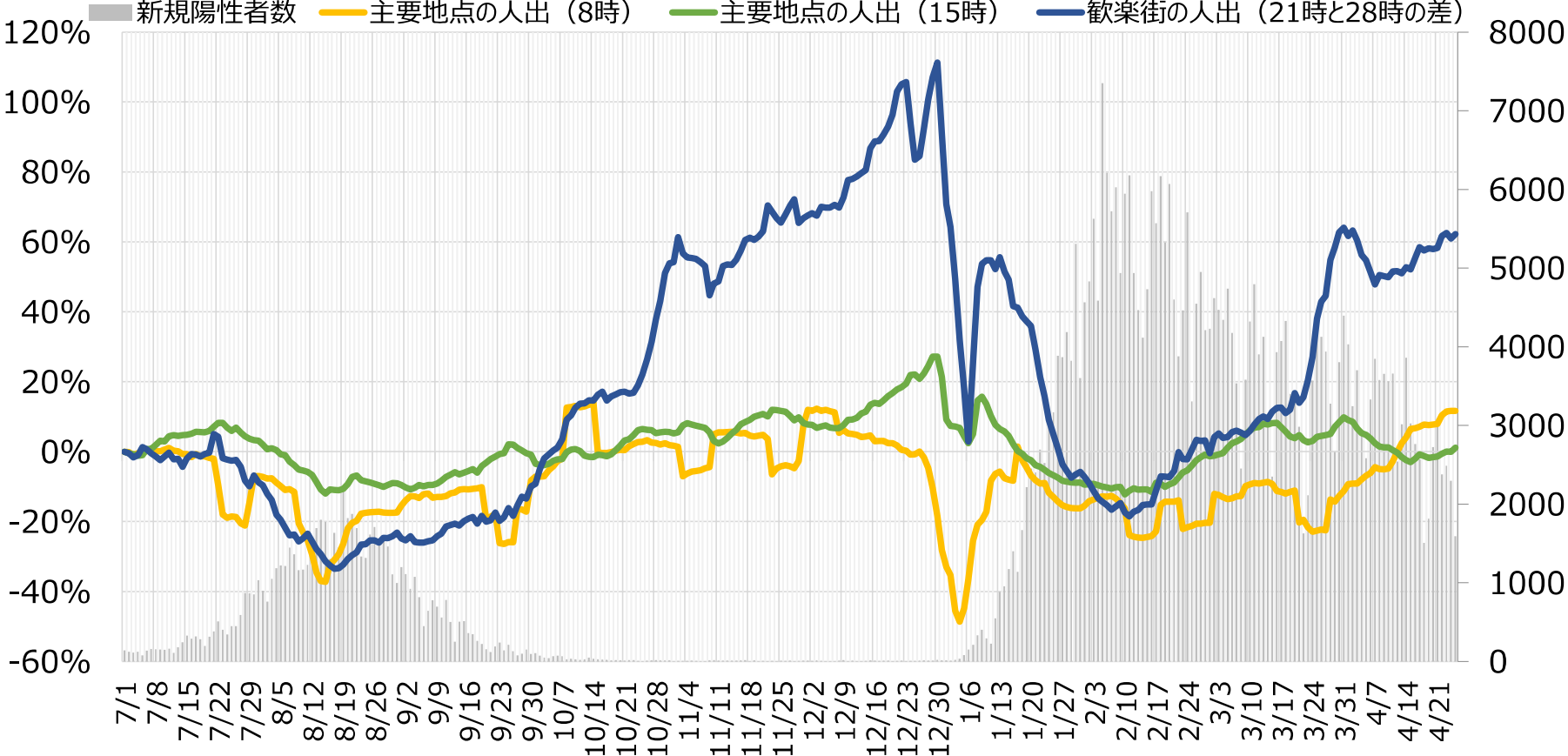
2021年10月1日～2022年4月21日



※越谷市については1/4
発表分以降、さいたま市
については1/17発表分
以降は感染原因に関する
情報が不明。

発症日

埼玉県の主要地点、歓楽街の人出（7月1日比、4月26日時点）



直近の対7月1日比増減率（ 4月25日 ）	8時	12%	15時	1%	21時	62%
-----------------------	----	-----	-----	----	-----	-----

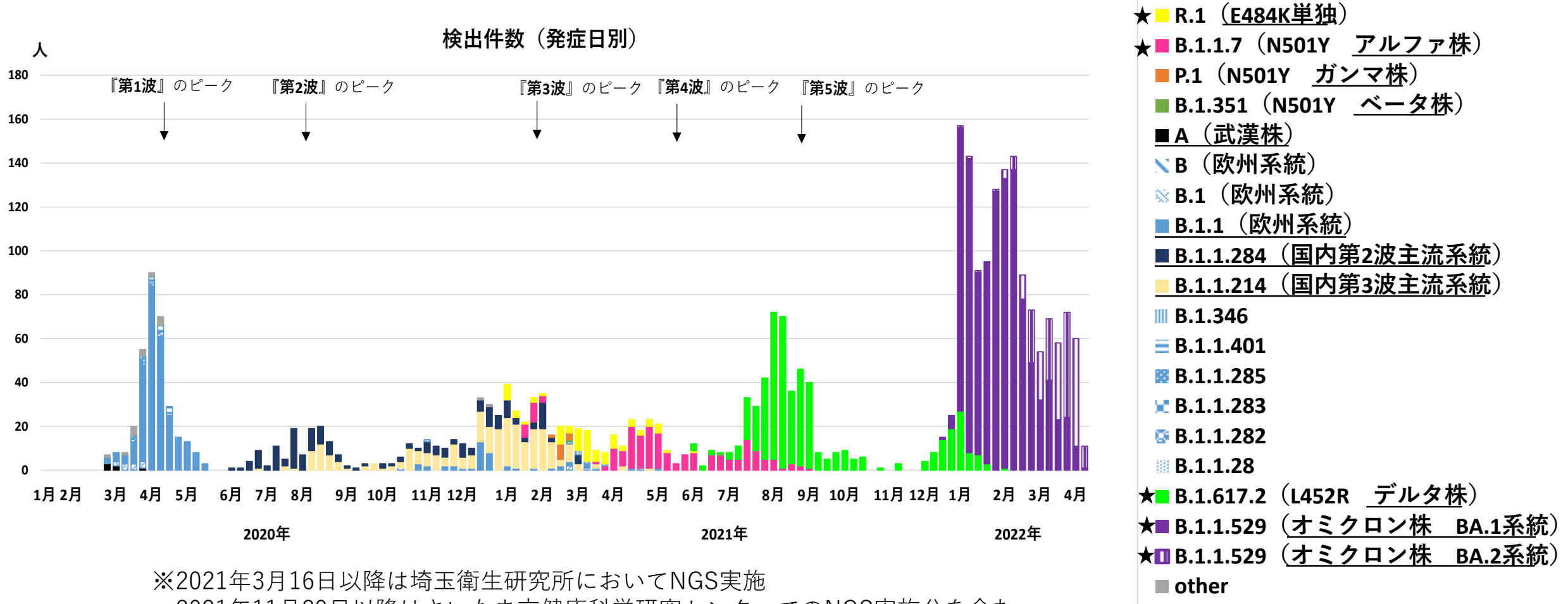
※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均（6月25日～7月1日の平均値）に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

（主要地点：大宮駅西、歓楽街：南銀座（大宮駅東）／川口駅周辺）

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

COVID-19のゲノム分析状況（発症日（週）別）①

（埼玉県衛生研究所（技術協力：国立感染症研究所（病原体ゲノム解析研究センター））



※2021年3月16日以降は埼玉衛生研究所においてNGS実施

2021年11月29日以降はさいたま市健康科学研究センターでのNGS実施分を含む

2022年1月25日以降は越谷市保健所検査室でのNGS実施分を含む

2022年2月7日以降は川越市保健所検査室でのNGS実施分を含む

2022年3月1日以降は川口市保健所検査室でのNGS実施分を含む

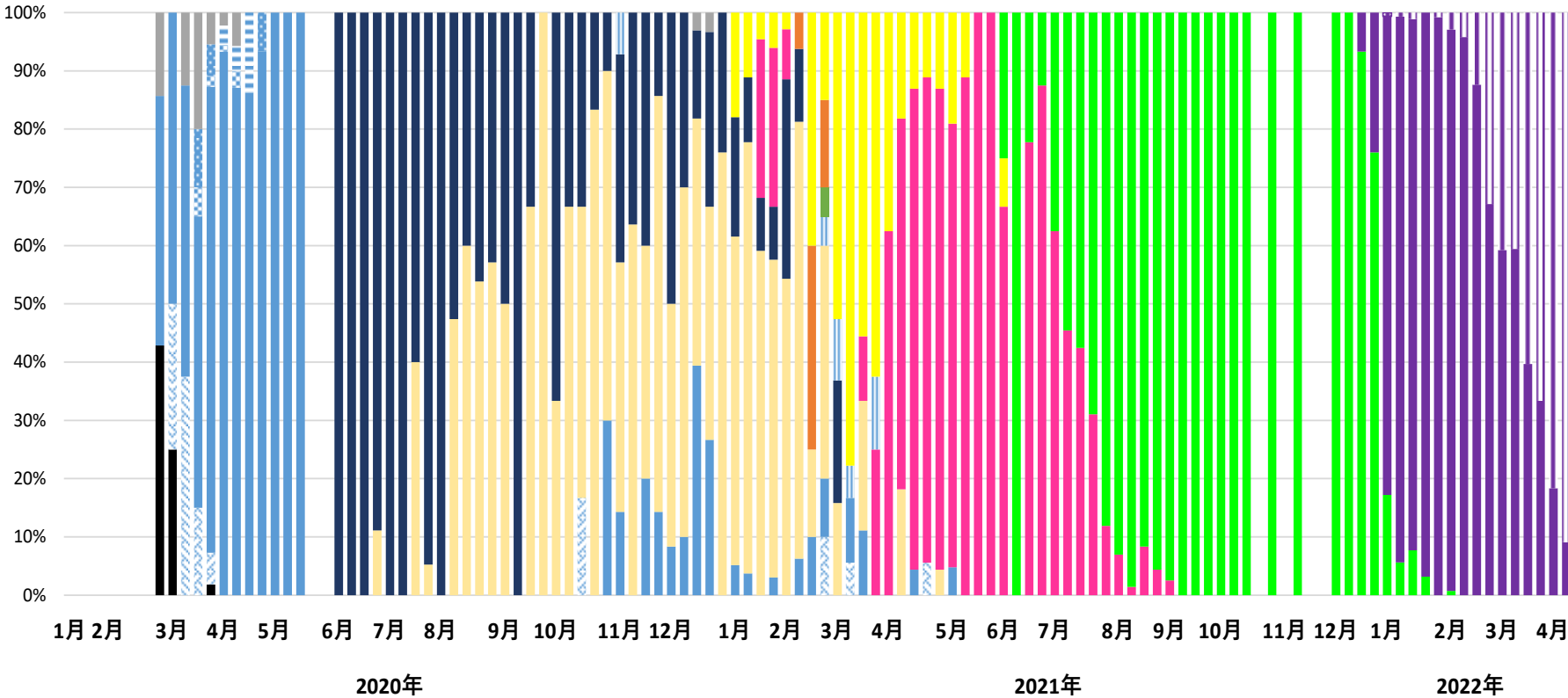
COVID-19のゲノム分析状況（発症日（週）別（割合））①

4/21現在

（埼玉県衛生研究所（技術協力：国立感染症研究所（病原体ゲノム解析研究センター））

検出割合（発症日別）

- ★ R.1（E484K単独）
- ★ B.1.1.7（N501Y アルファ株）
- ★ P.1（N501Y ガンマ株）
- ★ B.1.351（N501Y ベータ株）
- ★ A（武漢株）
- ★ B（欧州系統）
- ★ B.1（欧州系統）
- ★ B.1.1（欧州系統）
- ★ B.1.1.284（国内第2波主流系統）
- ★ B.1.1.214（国内第3波主流系統）
- ★ B.1.346
- ★ B.1.1.401
- ★ B.1.1.285
- ★ B.1.1.283
- ★ B.1.1.282
- ★ B.1.1.28
- ★ B.1.617.2（L452R デルタ株）
- ★ B.1.1.529（オミクロン株 BA.1系統）
- ★ B.1.1.529（オミクロン株 BA.2系統）
- ★ other



※2021年3月16日以降は埼玉衛生研究所においてNGS実施
 2021年11月29日以降はさいたま市健康科学研究センターでのNGS実施分を含む
 2022年1月25日以降は越谷市保健所検査室でのNGS実施分を含む
 2022年2月7日以降は川越市保健所検査室でのNGS実施分を含む
 2022年3月1日以降は川口市保健所検査室でのNGS実施分を含む

COVID-19のゲノム分析状況（発症日（週）別）②（2021/6/9～2022/4/12）

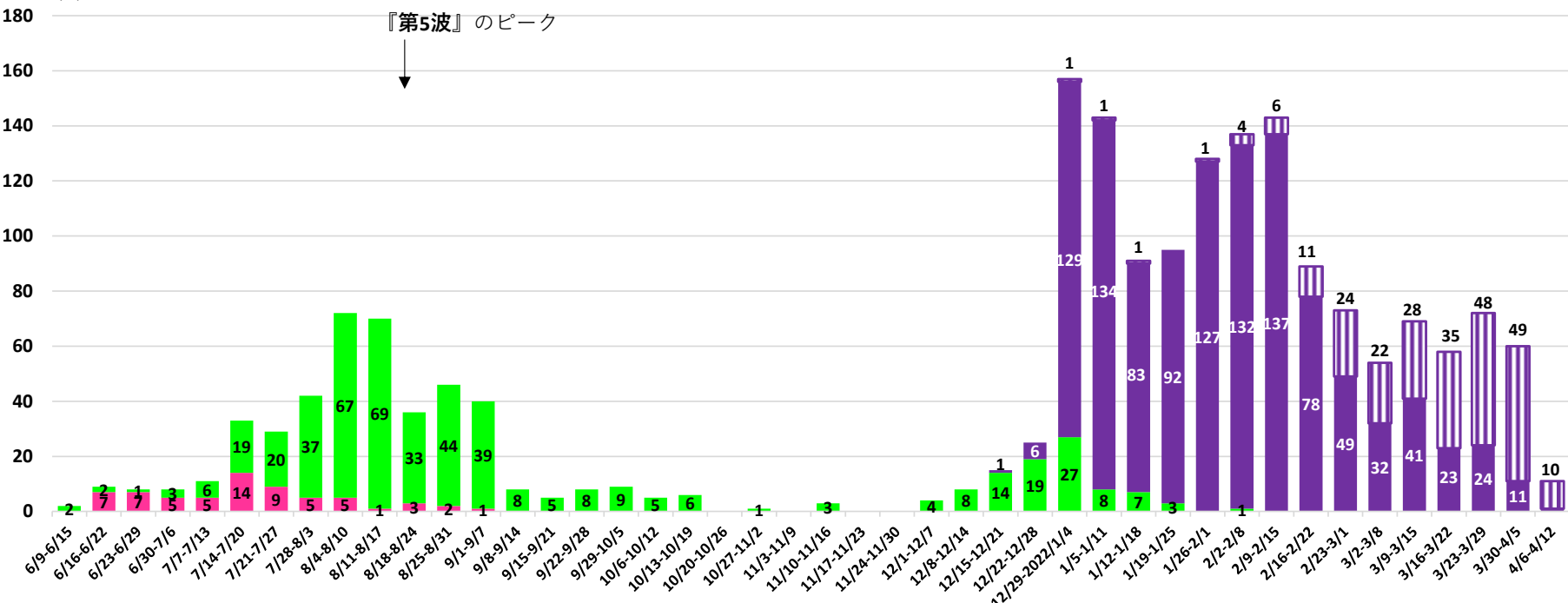
4/21現在

（埼玉県衛生研究所（技術協力：国立感染症研究所（病原体ゲノム解析研究センター））

検出件数（発症日2021/6/9から2022/4/12まで）

人

『第5波』のピーク



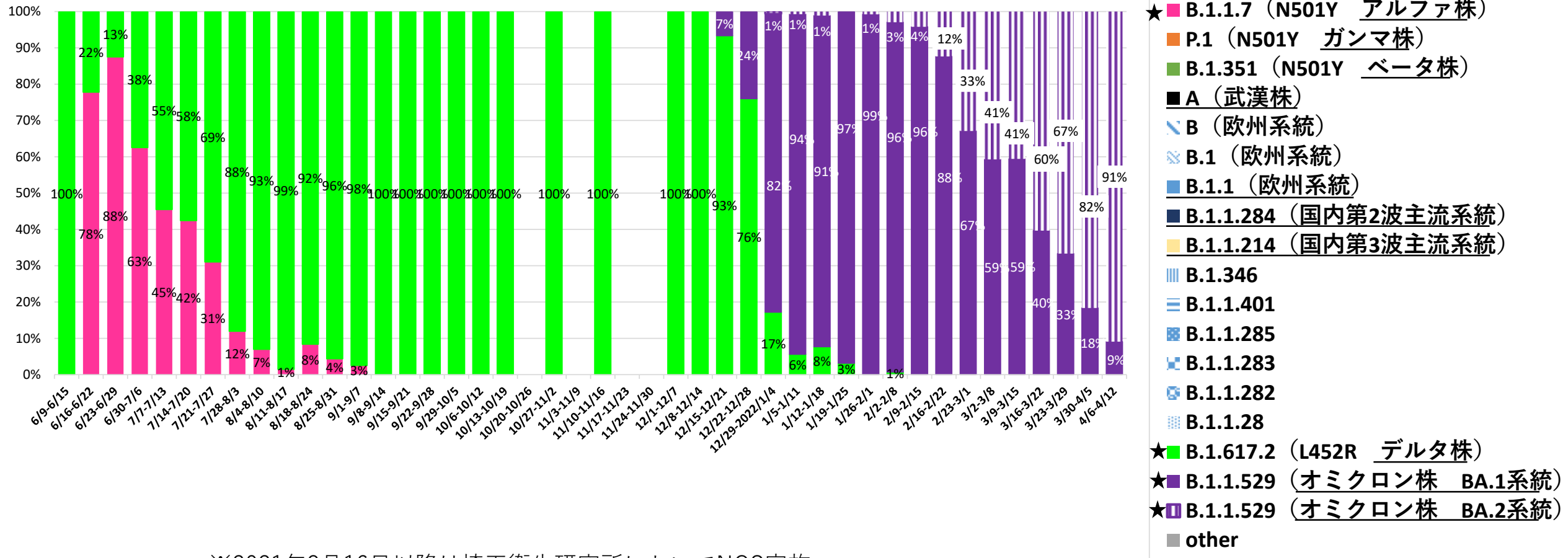
- ★ R.1 (E484K単独)
- ★ B.1.1.7 (N501Y アルファ株)
- ★ P.1 (N501Y ガンマ株)
- ★ B.1.351 (N501Y ベータ株)
- ★ A (武漢株)
- ★ B (欧州系統)
- ★ B.1 (欧州系統)
- ★ B.1.1 (欧州系統)
- ★ B.1.1.284 (国内第2波主流系統)
- ★ B.1.1.214 (国内第3波主流系統)
- ★ B.1.346
- ★ B.1.1.401
- ★ B.1.1.285
- ★ B.1.1.283
- ★ B.1.1.282
- ★ B.1.1.28
- ★ B.1.617.2 (L452R デルタ株)
- ★ B.1.1.529 (オミクロン株 BA.1系統)
- ★ B.1.1.529 (オミクロン株 BA.2系統)
- ★ other

※2021年3月16日以降は埼玉衛生研究所においてNGS実施
 2021年11月29日以降はさいたま市健康科学研究センターでのNGS実施分を含む
 2022年1月25日以降は越谷市保健所検査室でのNGS実施分を含む
 2022年2月7日以降は川越市保健所検査室でのNGS実施分を含む
 2022年3月1日以降は川口市保健所検査室でのNGS実施分を含む

COVID-19のゲノム分析状況（発症日（週）別（割合））② (2021/6/9~2022/4/12) 4/21現在

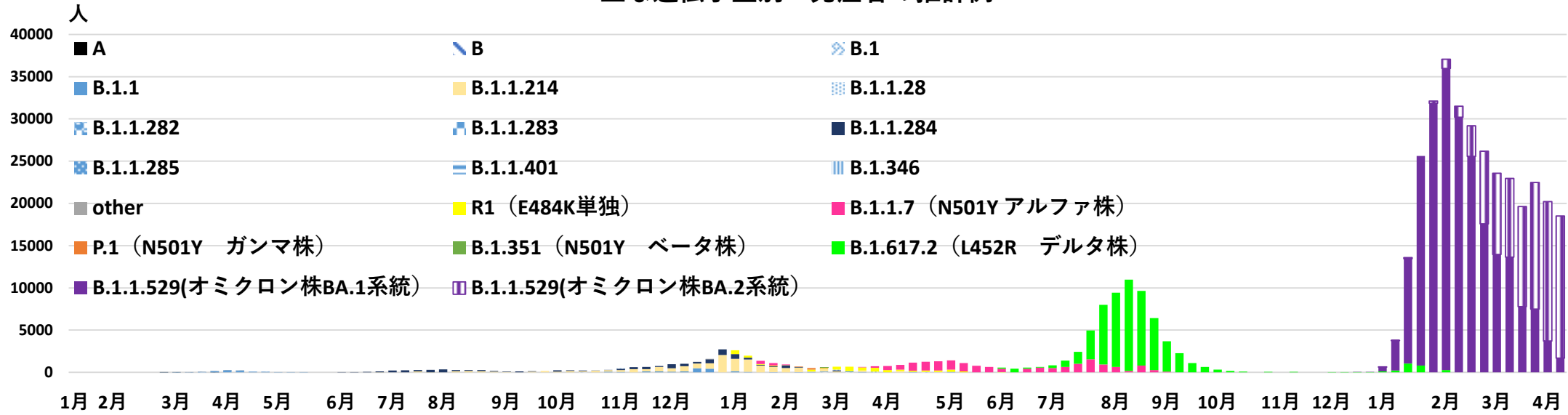
（埼玉県衛生研究所（技術協力：国立感染症研究所（病原体ゲノム解析研究センター））

検出割合（発症日2021/6/9から2022/4/12まで）

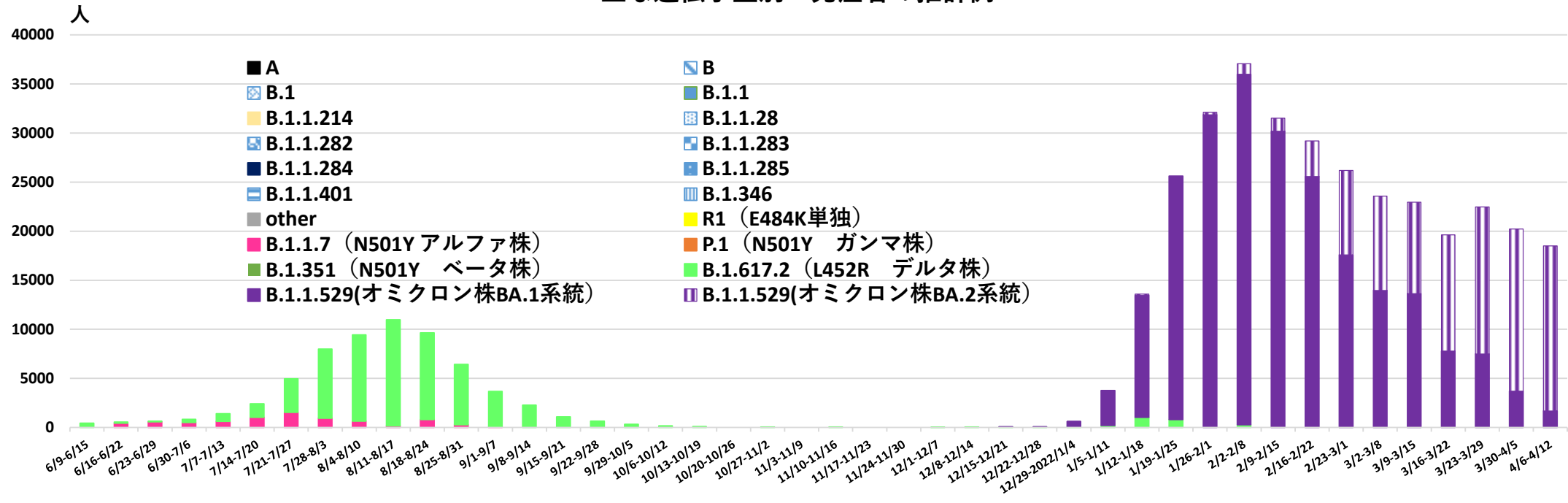


※2021年3月16日以降は埼玉衛生研究所においてNGS実施
 2021年11月29日以降はさいたま市健康科学研究センターでのNGS実施分を含む
 2022年1月25日以降は越谷市保健所検査室でのNGS実施分を含む
 2022年2月7日以降は川越市保健所検査室でのNGS実施分を含む
 2022年3月1日以降は川口市保健所検査室でのNGS実施分を含む

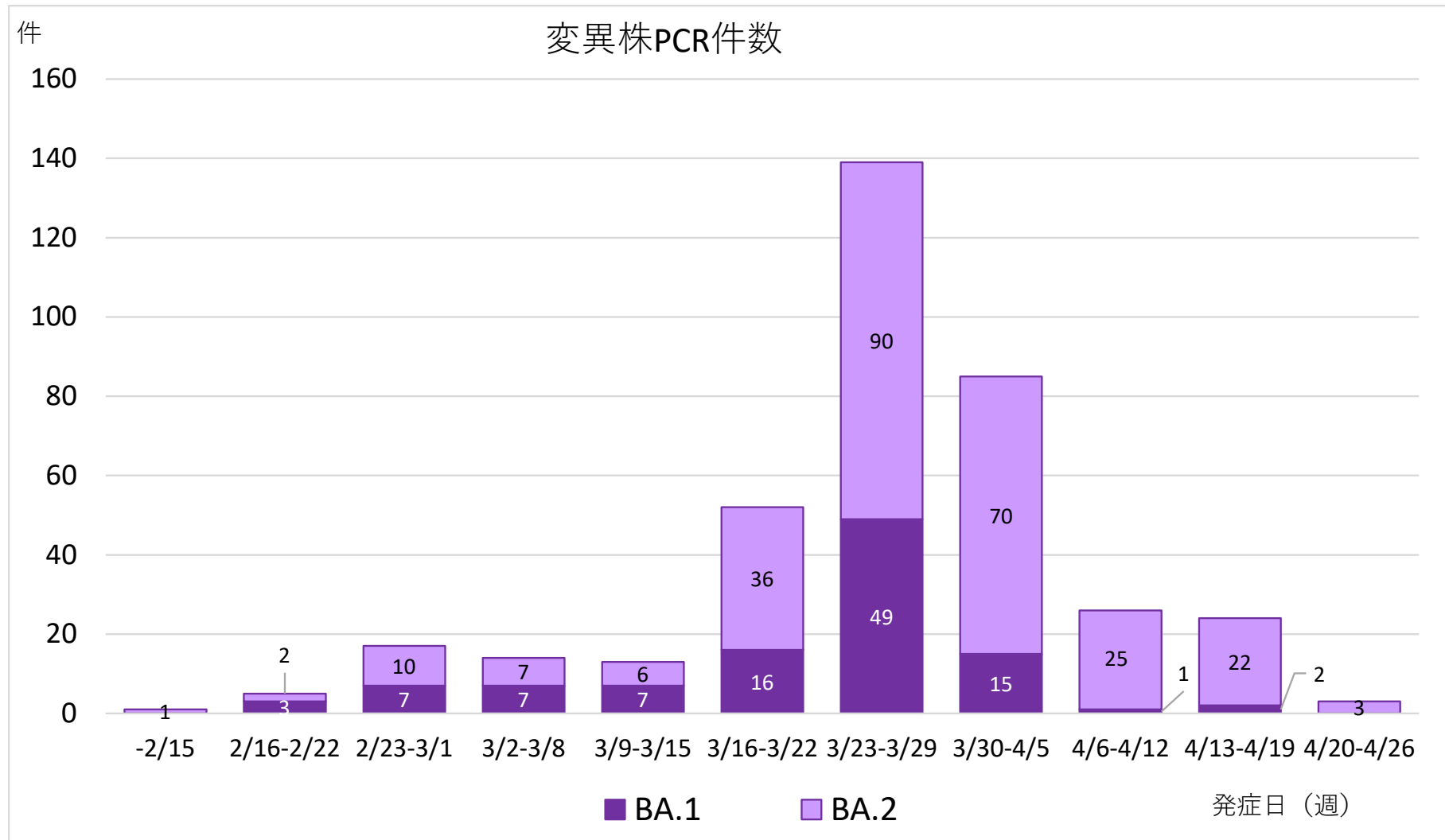
主な遺伝子型別 発症者の推計例



主な遺伝子型別 発症者の推計例



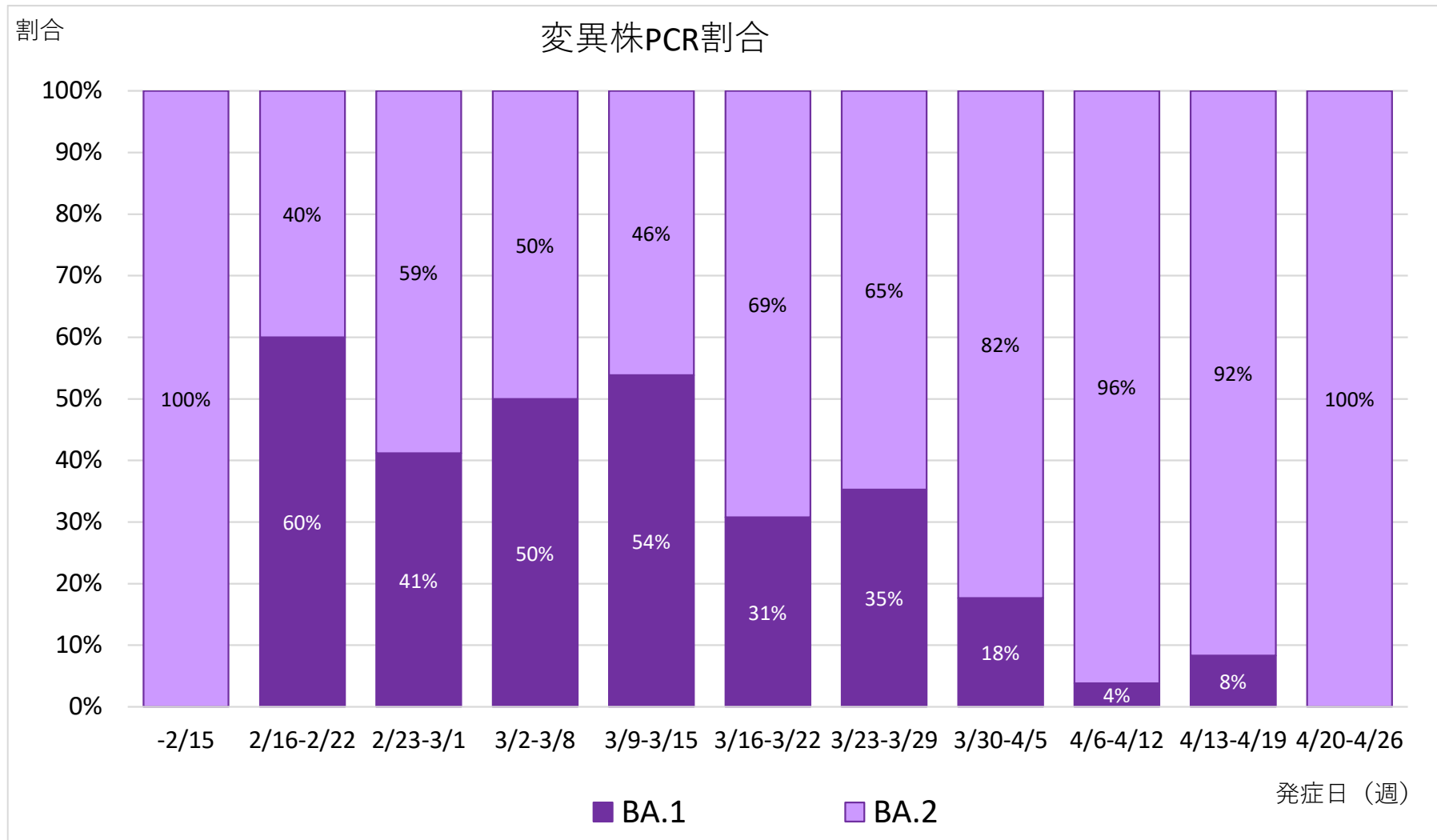
変異株PCR検査によるBA.1、BA.2の発症日（週）別の件数 （3/11～4/25検査分（埼玉県衛生研究所））



4月26日集計

- ※1 T547KのTかKを変異株PCR検査で判別
- ※2 1月30日～3月28日発症分は 民間検査機関（BML）からの検体170件を含む。
- ※3 3月1日～4月5日発症分は 民間検査機関（LSIメディエンス）からの検体79件を含む。
- ※4 3月23日～4月20日発症分は宿泊療養施設の検体95件を含む。

変異株PCR検査によるBA.1、BA.2の発症日（週）別の割合 （3/11～4/25検査分（埼玉県衛生研究所））

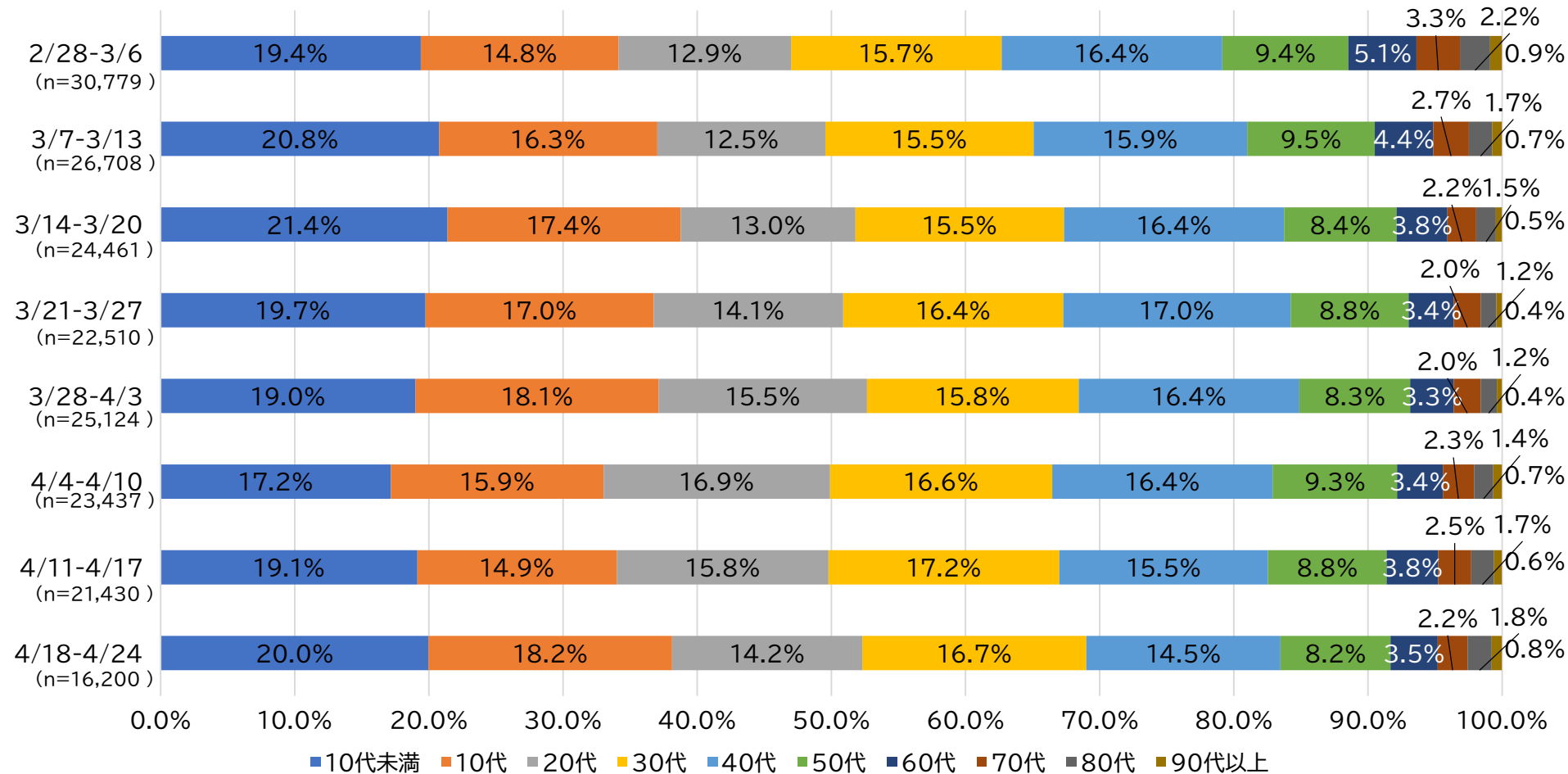


4月26日集計

- ※1 T547KのTかKを変異株PCR検査で判別
- ※2 1月30日～3月28日発症分は 民間検査機関（BML）からの検体170件を含む。
- ※3 3月1日～4月5日発症分は 民間検査機関（LSIメディエンス）からの検体79件を含む。
- ※4 3月23日～4月20日発症分は宿泊療養施設の検体95件を含む。

年齢別感染者の推移(発表日ベース)【構成比】

資料12



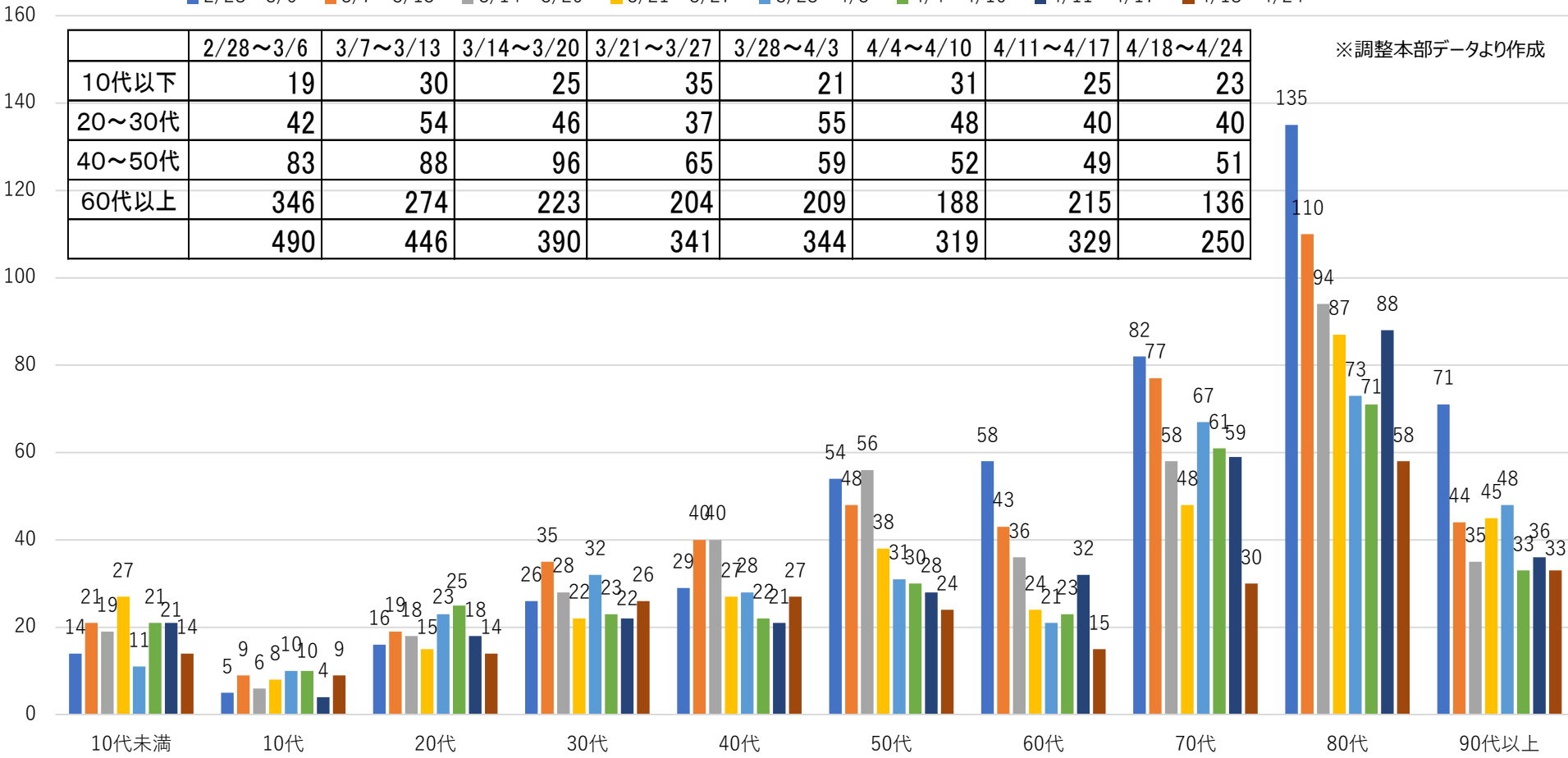
年齢別入院患者数推移(入院調整日ベース集計(フロー))

資料13

■ 2/28~3/6 ■ 3/7~3/13 ■ 3/14~3/20 ■ 3/21~3/27 ■ 3/28~4/3 ■ 4/4~4/10 ■ 4/11~4/17 ■ 4/18~4/24

	2/28~3/6	3/7~3/13	3/14~3/20	3/21~3/27	3/28~4/3	4/4~4/10	4/11~4/17	4/18~4/24
10代以下	19	30	25	35	21	31	25	23
20~30代	42	54	46	37	55	48	40	40
40~50代	83	88	96	65	59	52	49	51
60代以上	346	274	223	204	209	188	215	136
	490	446	390	341	344	319	329	250

※調整本部データより作成



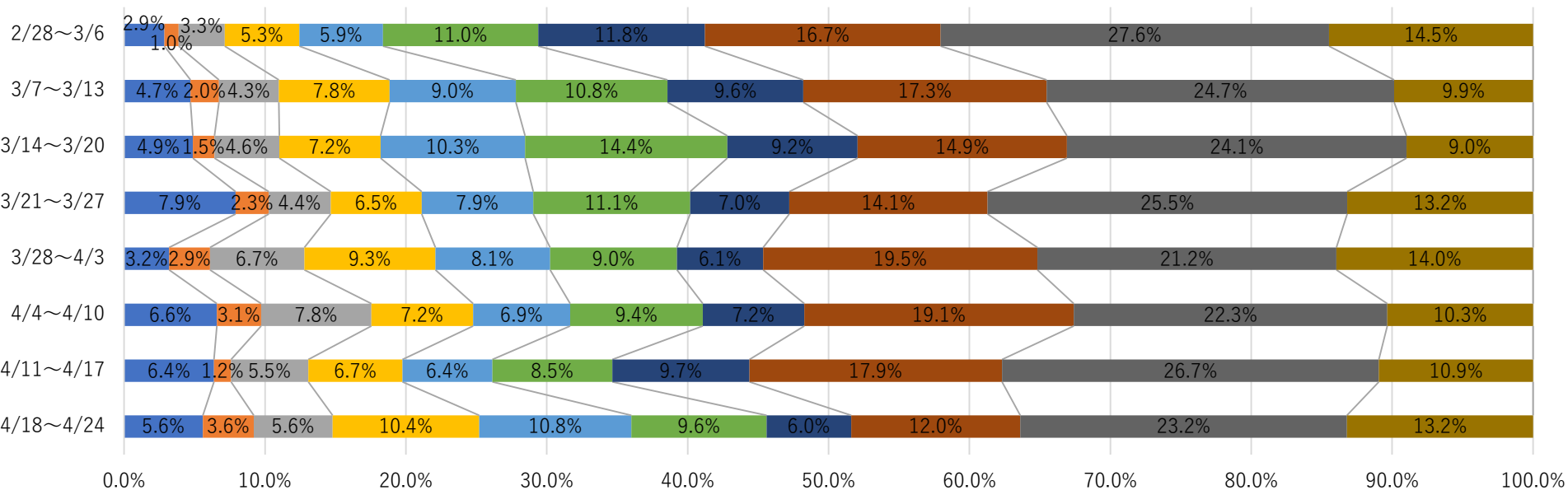
年齢別入院患者構成比の推移(入院調整日ベース集計(フロー))

資料13-2

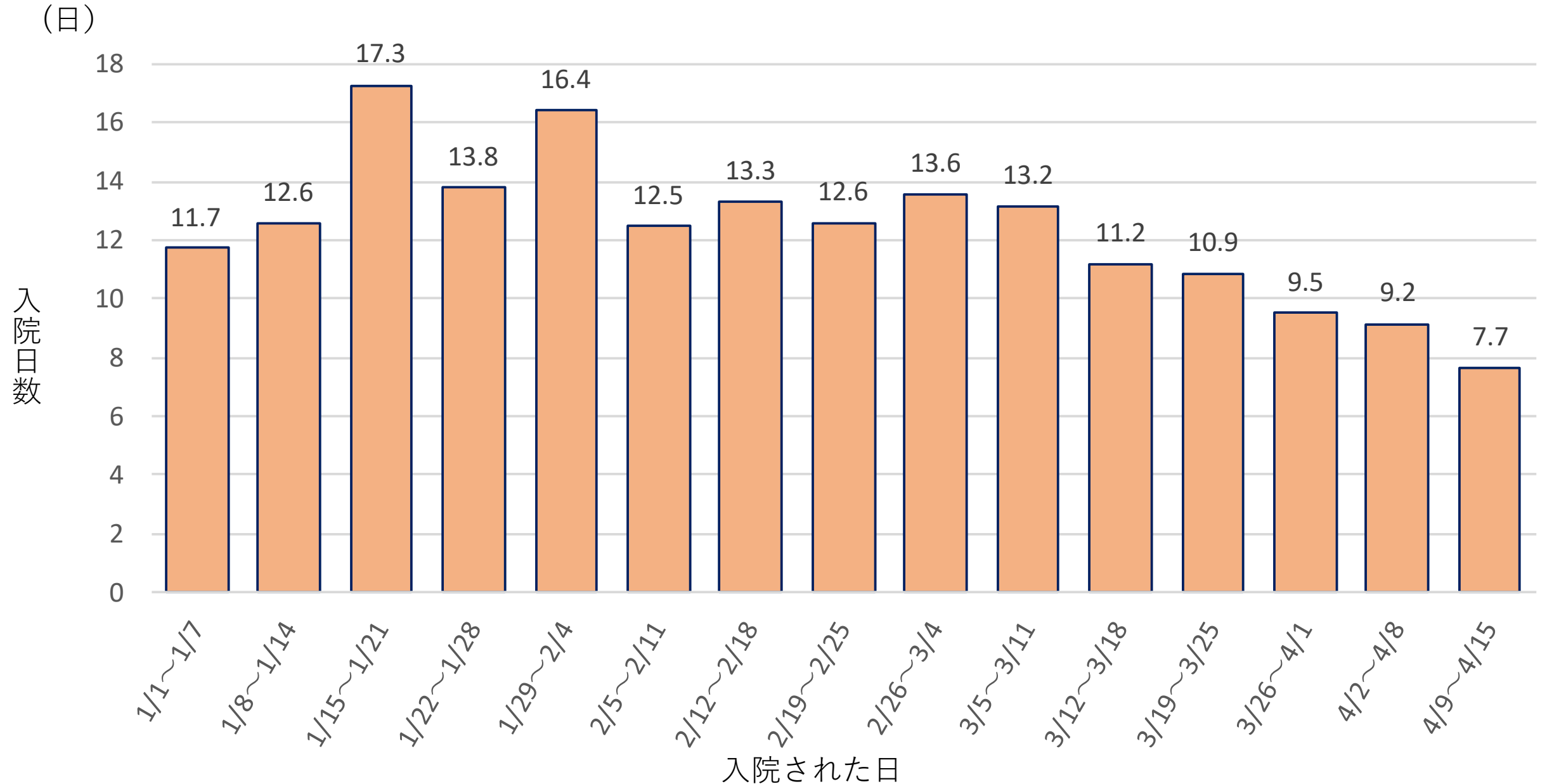
※調整本部データより作成

	2/28~3/6	3/7~3/13	3/14~3/20	3/21~3/27	3/28~4/3	4/4~4/10	4/11~4/17	4/18~4/24
10代以下	3.9%	6.7%	6.4%	10.3%	6.1%	9.7%	7.6%	9.2%
20~30代	8.6%	12.1%	11.8%	10.9%	16.0%	15.0%	12.2%	16.0%
40~50代	16.9%	19.7%	24.6%	19.1%	17.2%	16.3%	14.9%	20.4%
60代以上	70.6%	61.4%	57.2%	59.8%	60.8%	58.9%	65.3%	54.4%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 10代未満 ■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代以上

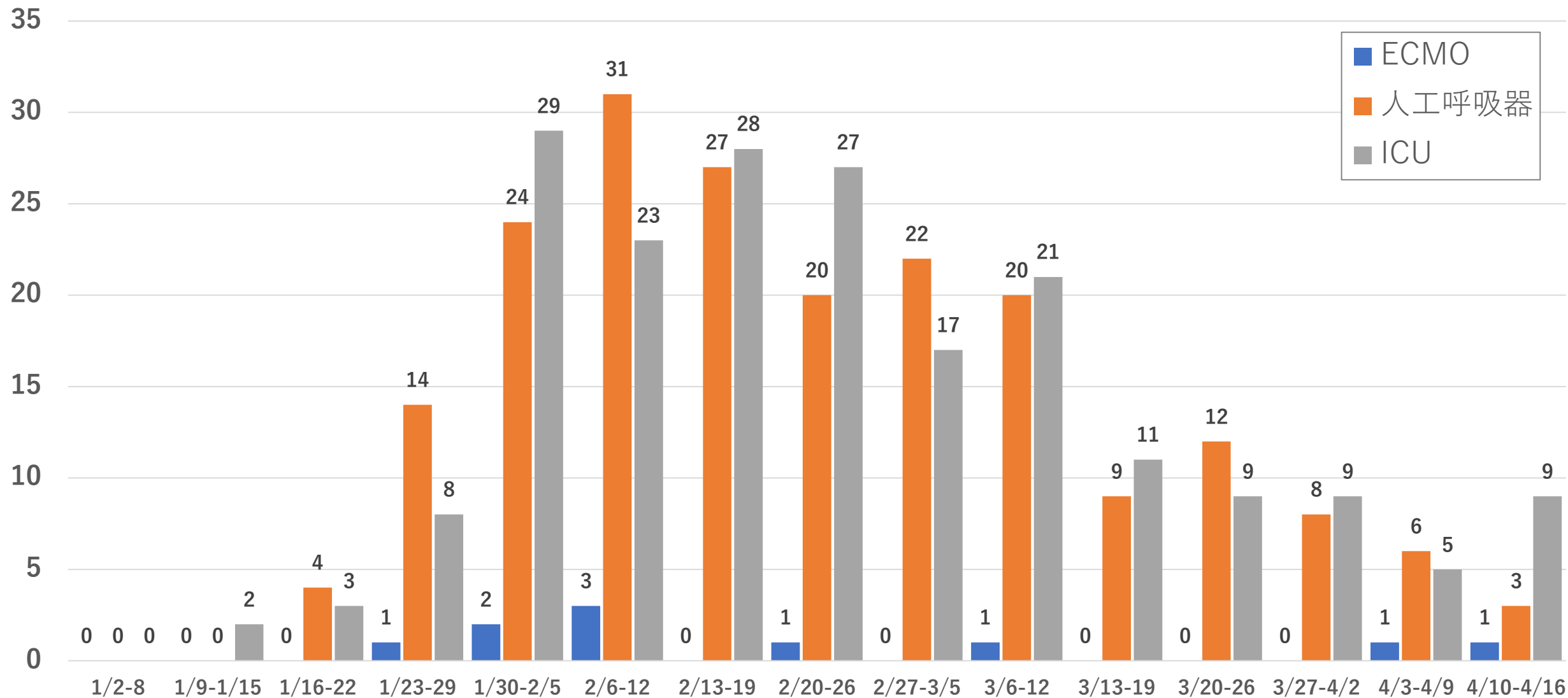


平均入院日数の状況について



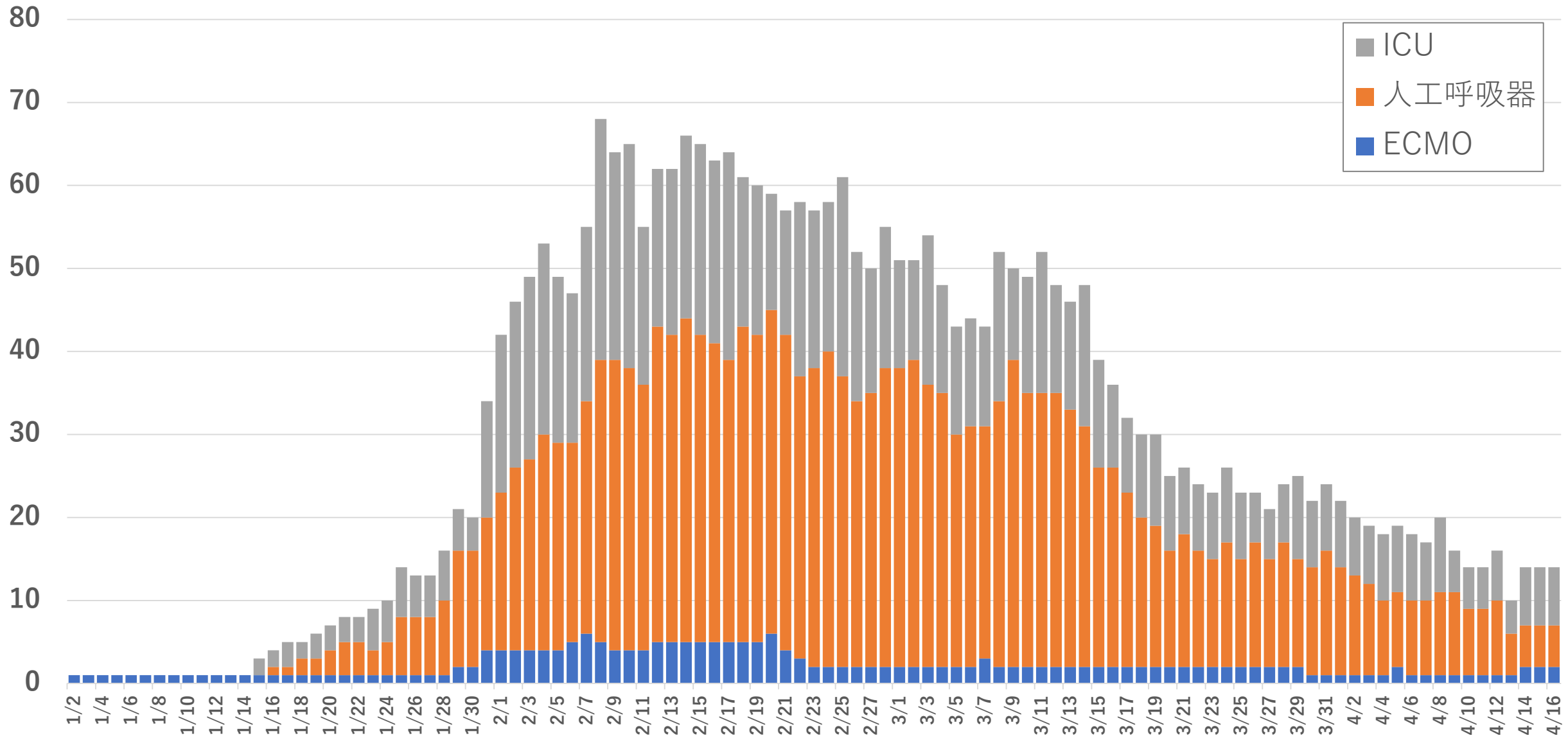
第6波における重症者（新規）の推移

(人)



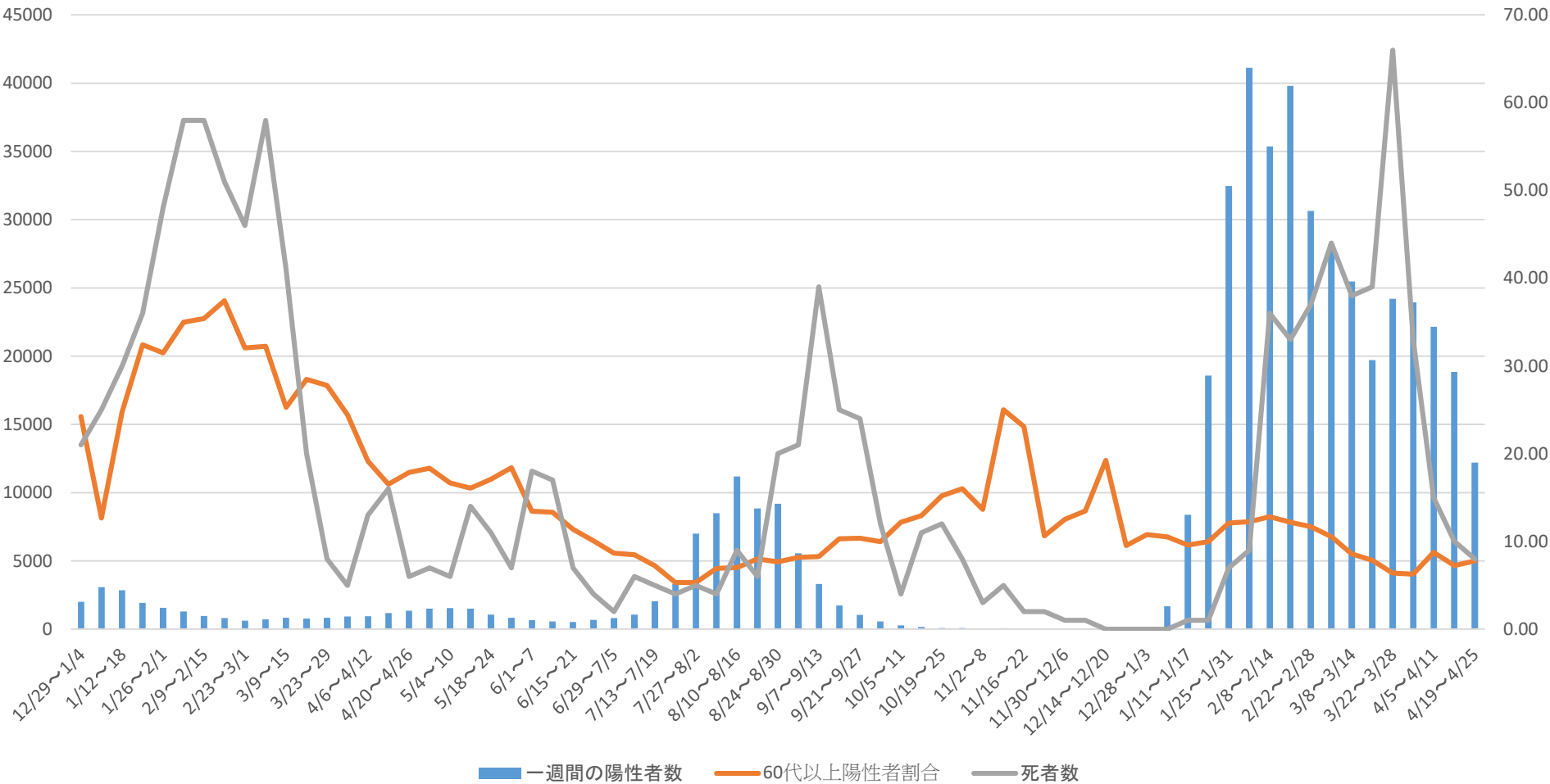
第6波における重症者の推移

(人)

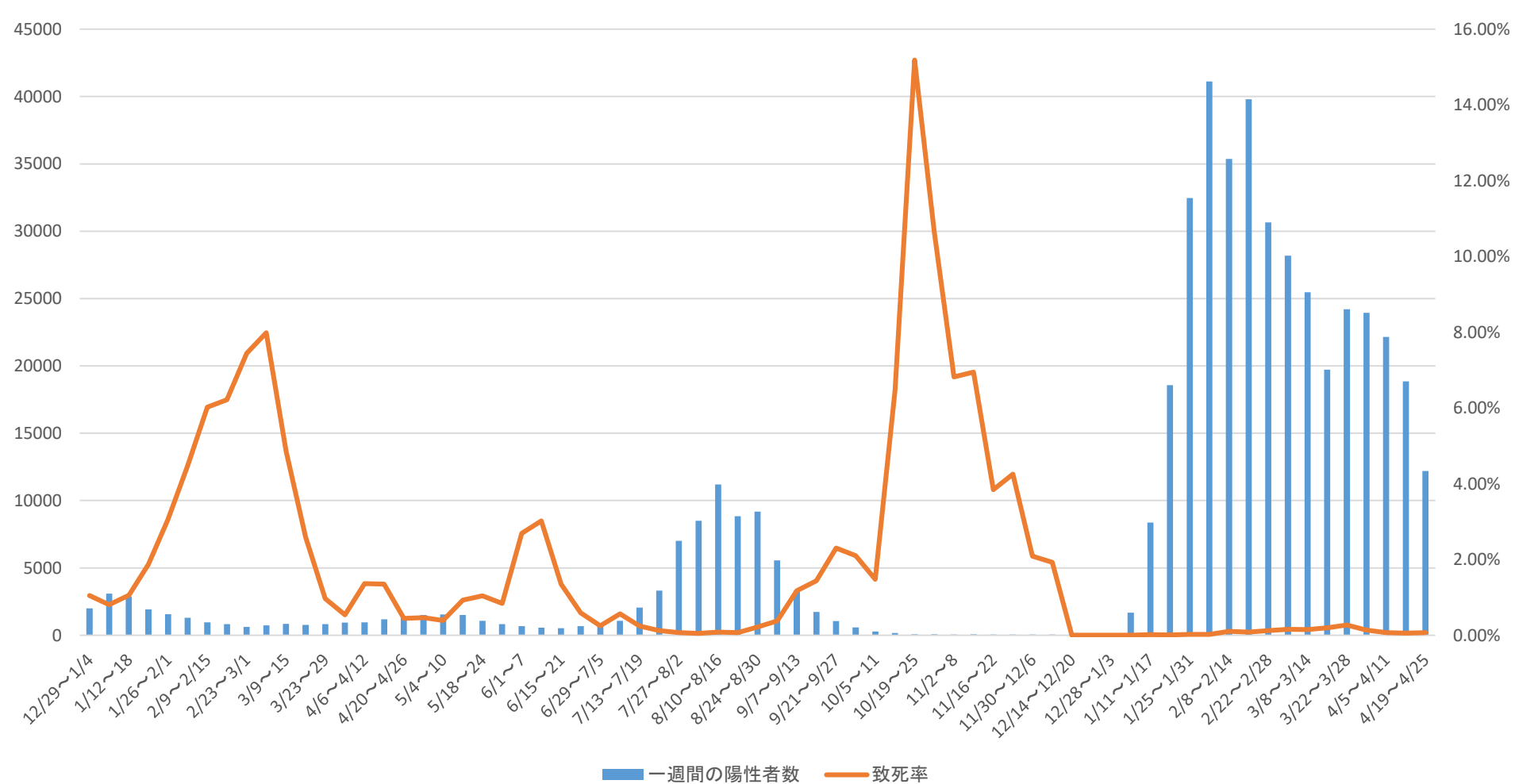


週別陽性者・死者数(判明日ベース)

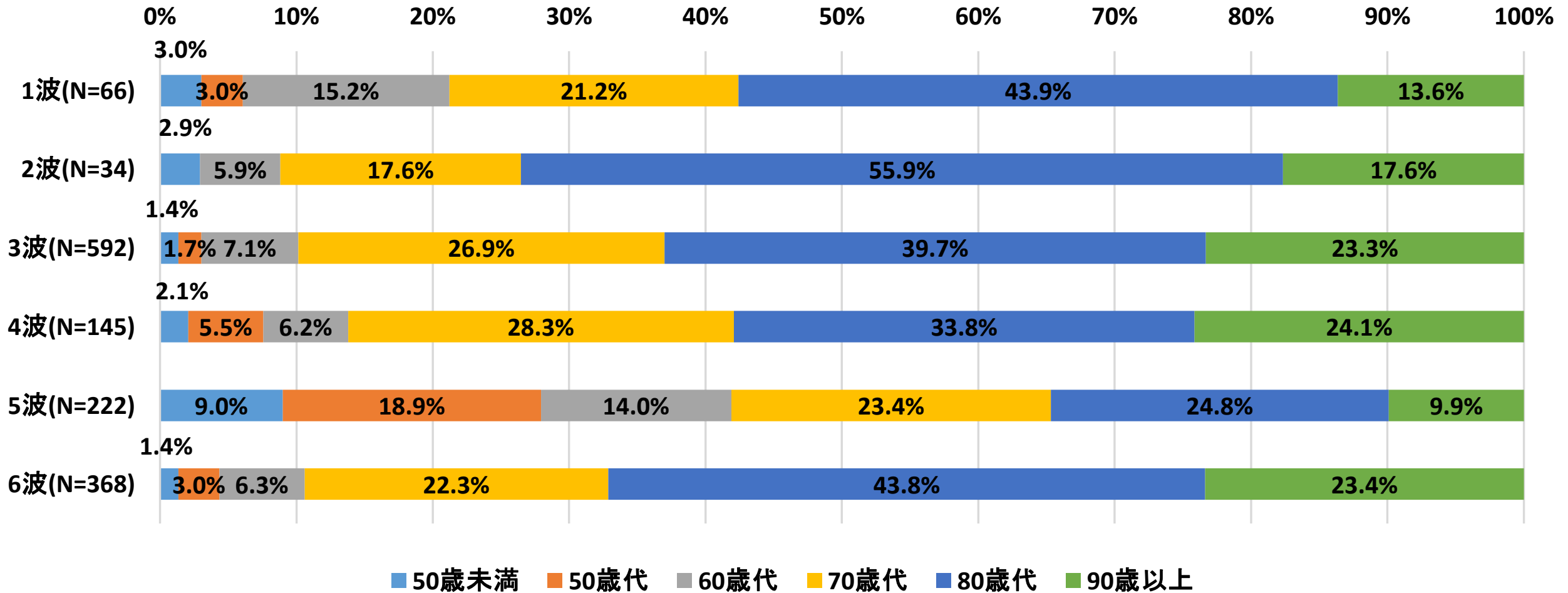
資料15



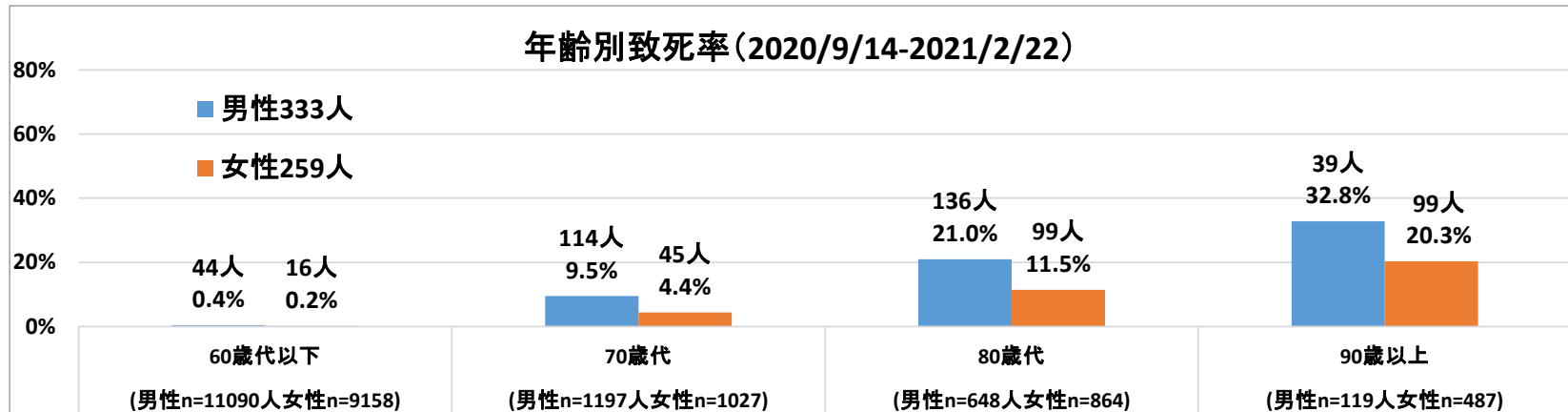
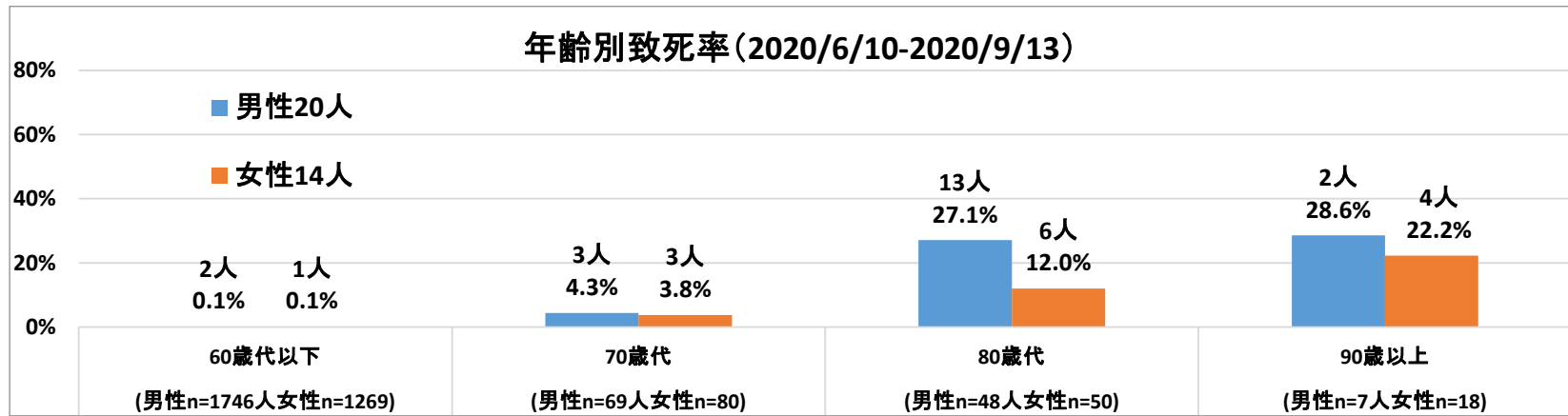
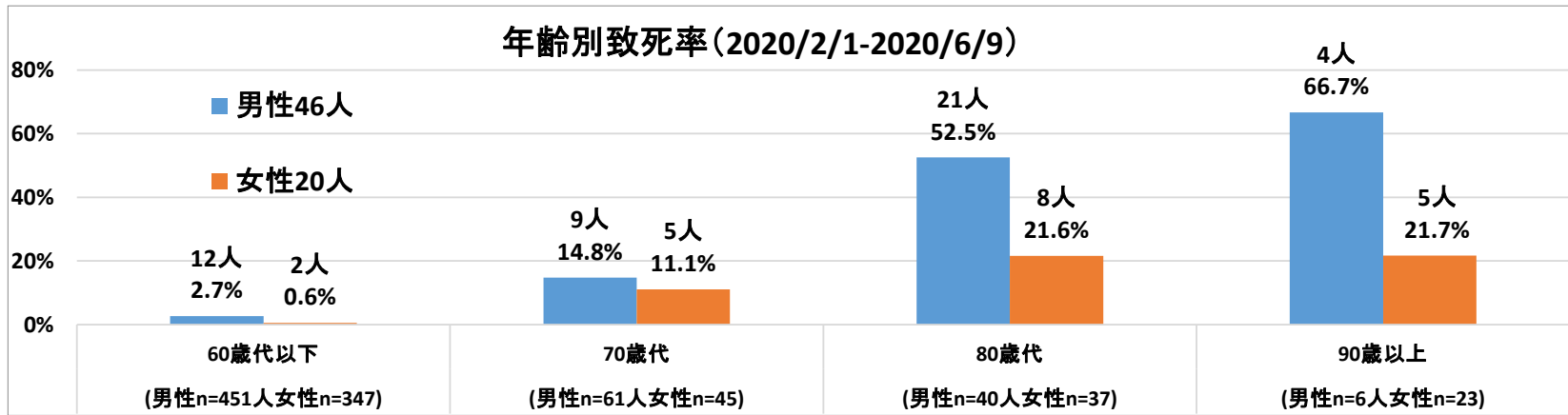
週別陽性者数・致死率(判明日ベース)



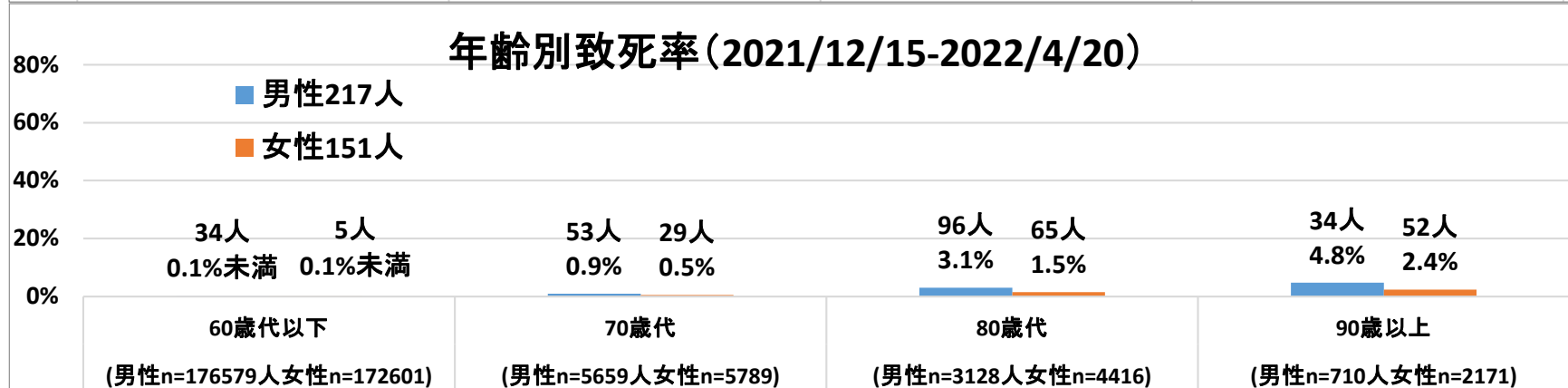
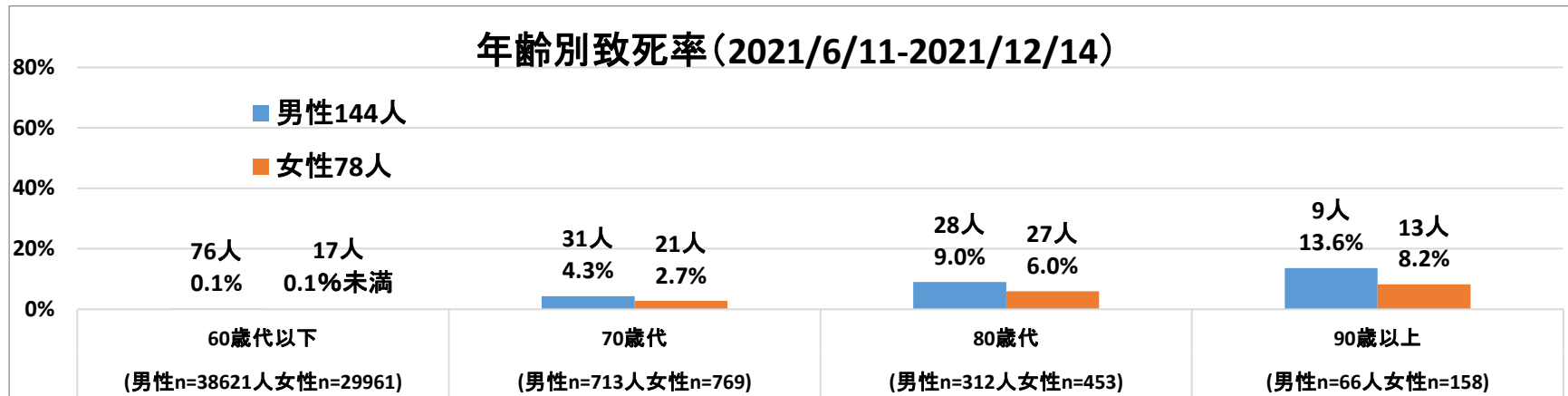
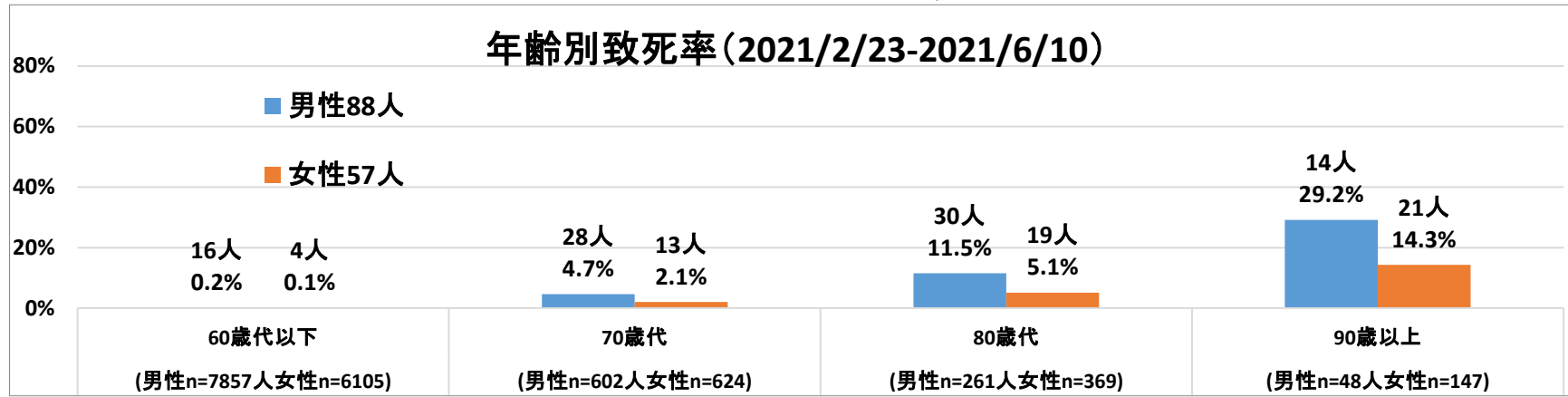
死亡者の年齢構成(シーズン別)



年齡別致死率



年齢別致死率



○2020年2月1日～2020年6月9日

陽性者全体の致死率は**6.5%**（66例/1010例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は**1.75%**（14例/798例）、70歳代での致死率は**13.2%**（14例/106例）、80歳代以上では**35.9%**（38例/106例）でした。

○2020年6月10日～2020年9月13日

陽性者全体の致死率は**1.0%**（34例/3287例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は**0.1%**（3例/3015例）、70歳代での致死率は**4.0%**（6例/149例）、80歳代以上では**20.3%**（25例/123例）でした。

○2020年9月14日～2021年2月22日

陽性者全体の致死率は**2.4%**（592例/24590例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は**0.3%**（60例/20248例）、70歳代での致死率は**7.2%**（159例/2224例）、80歳代以上では**17.6%**（373例/2118例）でした。

○2021年2月23日～2021年6月10日

陽性者全体の致死率は**0.91%**（145例/16013例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は**0.14%**（20例/13962例）、70歳代での致死率は**3.3%**（41例/1226例）、80歳代以上では**10.2%**（84例/825例）でした。

○2021年6月11日～2021年12月14日

陽性者全体の致死率は**0.31%**（222例/71053例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は**0.14%**（93例/68582例）、70歳代での致死率は**3.5%**（52例/1482例）、80歳代以上では**7.8%**（77例/989例）でした。

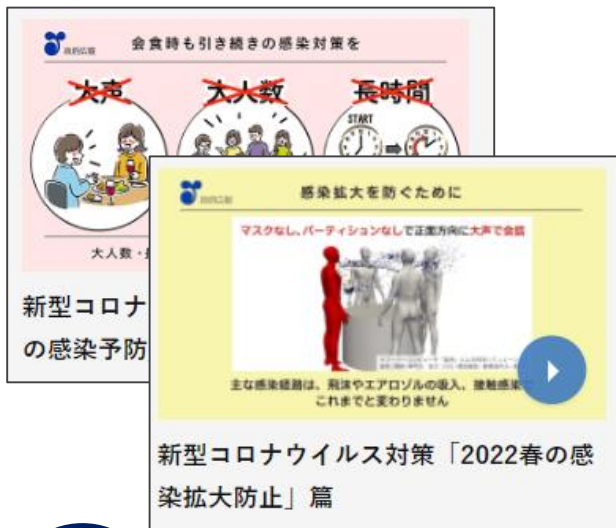
○2021年12月15日～2022年4月20日

陽性者全体の致死率は**0.10%**（368例/371053例）でした。

また、年齢別にみると、60歳代以下では致死率は**0.01%**（39例/349180例）、70歳代での致死率は**0.72%**（82例/11448例）、80歳代以上では**2.37%**（247例/10425例）でした。

感染防止対策等について (最近の状況など)

○ 感染拡大を抑えるためには、基本的な感染予防対策が重要不可欠である。



ゴールデンウィークも コロナに気をつけて

基本的対策の徹底

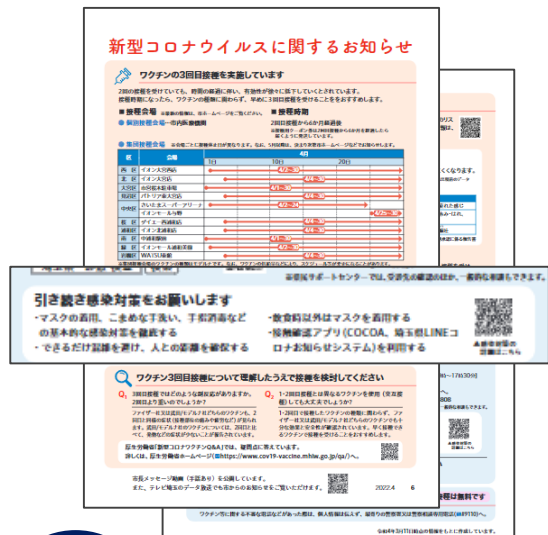
- 手を洗おう
- 消毒しよう
- マスクは正しく着用しよう
- 換気しよう
- 距離をとろう
- 時間をずらそう

旅行や帰省の際も 感染対策

- 混雑する場所や時間を避けて
- 移動中の自動車内でも、こまめな換気
- 体調が悪いときは、外出を控えて

埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県

1都3県共同メッセージ (4月14日)
九都県市首脳会議 (4月20日)
1都3県共同メッセージ (4月25日)

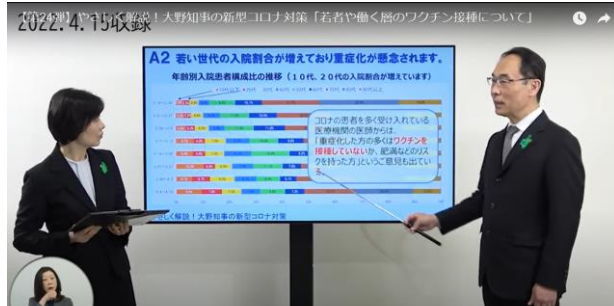


国
内閣官房作成動画
<https://corona.go.jp/>
動画の作成・配信
リーフレットの作成等

県
メッセージの発信
街頭での知事呼びかけ等

市町村
市報さいたま
2022年4月号
広報紙やホームページ
防災無線での周知等

- 感染拡大を抑えるためには、停滞しがちな若者世代や働き世代の接種を加速することが重要。
- 県では接種促進のために、積極的な情報発信や接種機会の拡大を行っている。



大野知事による解説動画

新規開設

北部ワクチン接種センター

【会場】ニットモール2階
JR・株父鉄道
熊谷駅下車徒歩3分

【受付時間】 全日10:30~19:00

予約開始日 **3/29 (火)**

新規開設

東部ワクチン接種センター

【会場】南越谷ラクーン6階
JR 南越谷駅・東武スカイツリーライン 南越谷駅下車徒歩3分

【受付時間】 全日10:30~19:00

予約開始日 **3/29 (火)**

東部ワクチンセンターは毎週金曜日の接種時間を21時まで延長

会場(ニットモール) 会場(南越谷ラクーン)

若者世代や働き世代の接種機会の拡大



県センターにおける団体接種の実施



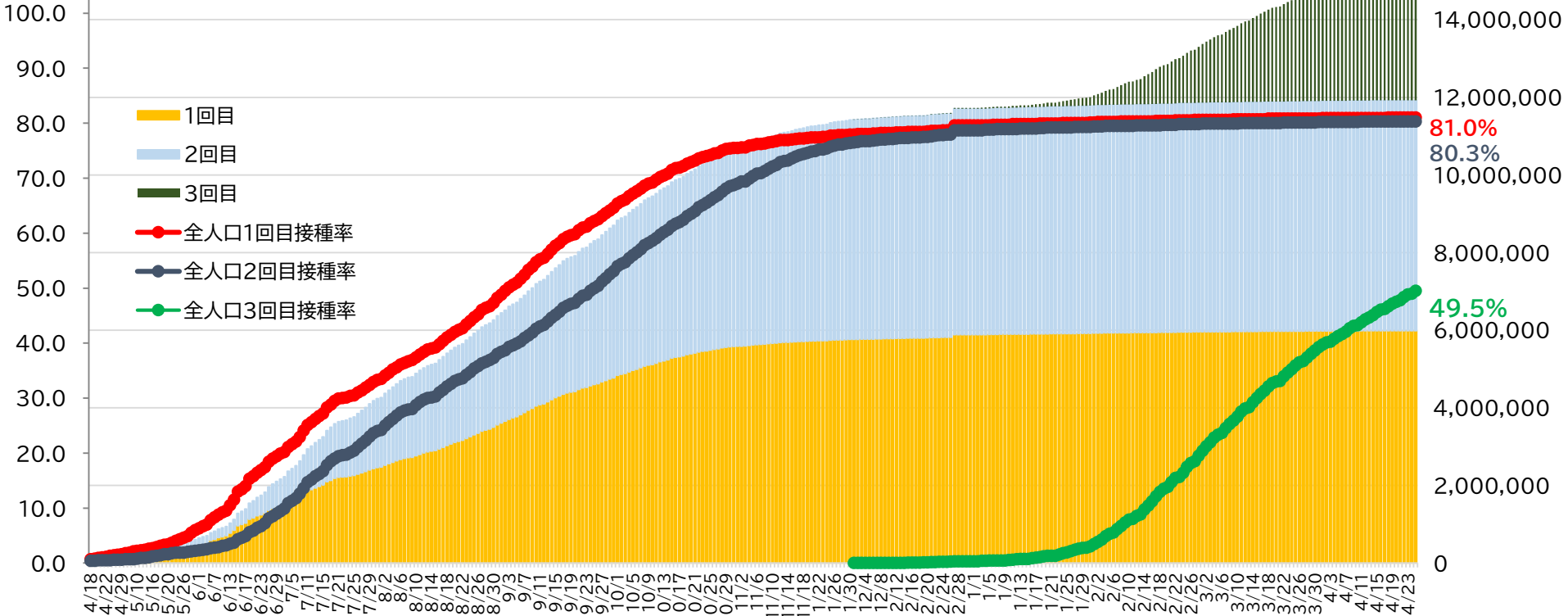
埼玉県×秘密結社 鷹の爪 動画

新型コロナウイルスの接種実績

(R4.4.25までの実績)

	1回目接種 (前日比)	2回目接種 (前日比)	3回目接種 (前日比)	うち高齢者 (前日比)	合計 前日比
接種回数	5,985,824 (+0)	5,938,734 (+0)	3,661,265 (+41,080)	1,719,174 (+2,755)	15,585,823 (+41,080)
接種率	81.0% (+0.0)	80.3% (+0.0)	49.5% (+0.6)	87.7% (+0.1)	

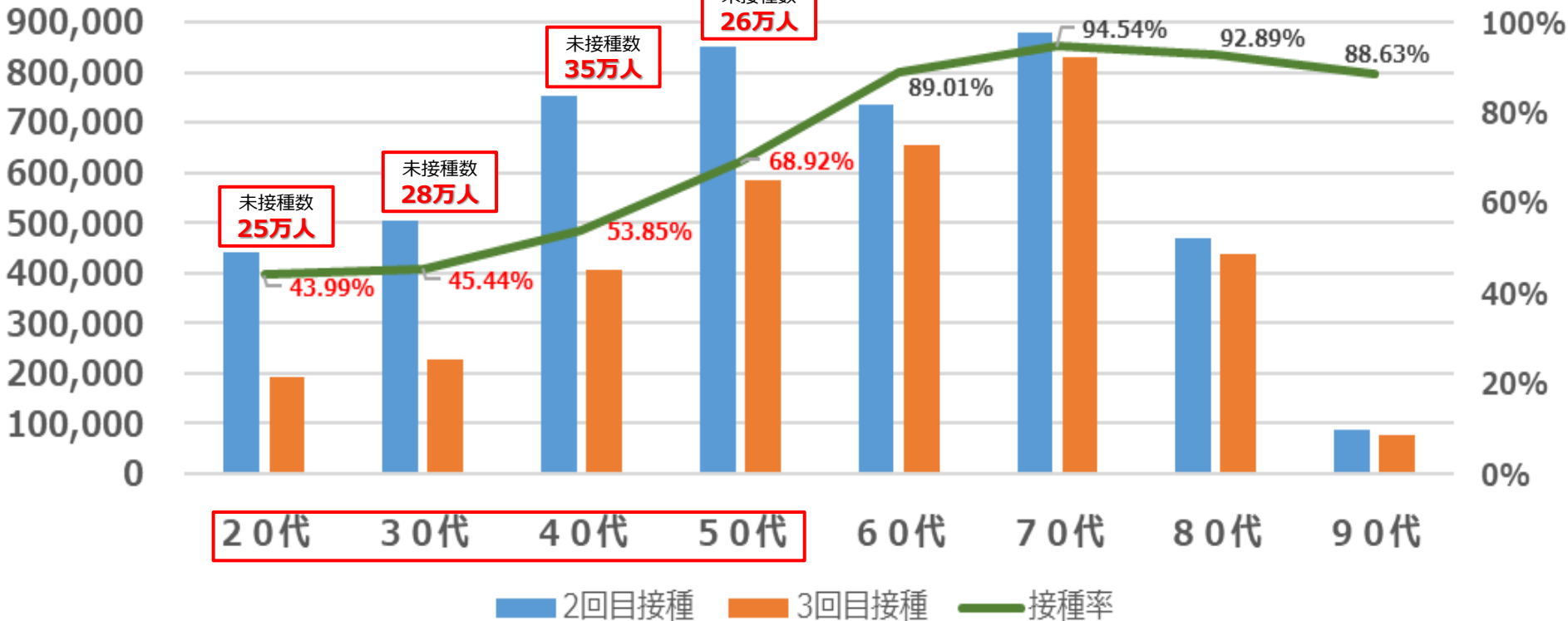
※1・2回目接種の回数・接種率は国のシステムがメンテナンス中のため、令和4年4月20日時点の実績



※ 接種率は、R3.1.1時点の埼玉県の住基人口(739万3,799人)に対する、VRSに登録された接種数の割合から算出

2回目接種から6か月経過している人数に対する「3回目接種者」の状況

（令和4年4月18日までの実績）



追加接種（3回目接種）の進捗状況

（1）2回目接種から6か月経過した対象者に対する接種率

- 6か月前の2回目接種完了者数に対する接種率（3回目接種者数／6か月前の2回目接種完了者数）について**埼玉県は69.34%であり、全国平均の69.69%を下回っている（31位）**

	人口 (A)	3回目接種（4/18時点）		2回目接種（10/18時点）		6か月経過者 に対する接種率 （4/18時点） (B)/(C)
		接種回数 (B)	対人口接種率 (B)/(A)	接種回数 (C)	対人口接種率 (C)/(A)	
全国	126,645,025	61,052,803	48.21%	87,609,429	69.18%	69.69%
埼玉県	7,393,799	3,417,430	46.22% (▲1.99)	4,928,831	66.66% (▲2.52)	69.34% (▲0.35)

（2）高齢者人口に対する接種率

- 国は**希望する高齢者に対し2月中に接種を完了**するよう自治体に対して要請
- **高齢者人口に対する接種率は、埼玉県は86.80%であり、全国平均の86.00%を上回っている(22位)**

	高齢者人口	接種回数	接種率
全国	35,767,994	30,761,052	86.00%
埼玉県	1,959,702	1,701,082	86.80% (+0.80)

1 ワクチンの特性

4月19日 薬事承認

- 種類 組換えタンパクワクチン（mRNA（ファイザー、モデルナ）やウイルスベクター（アストラゼネカ）とは異なる）
- 特徴
 - ・ 組換えタンパクワクチンは世界中で幅広く使用され、長期の使用実績のある技術
 - ・ 武田社がノババックス社から技術移管を受けて、国内工場（山口県）で製造、流通を行う
- 対象 18歳以上

2 主な接種対象者

- ① ポリエチレングリコールアレルギー等で、mRNAワクチン（ファイザー社ワクチン及び武田/モデルナ社ワクチン）を接種出来ない者
- ② アストラゼネカ社ワクチンで1、2回目接種を行った者
- ③ その他の接種を希望する者

3 アストラゼネカ社ワクチンとの関係

- アレルギーを理由に、ファイザー社ワクチン及び武田/モデルナ社ワクチンの接種不適合者に該当する場合、これまでアストラゼネカ社製ワクチンを接種していたが、対象が原則40歳以上とされていた。
- 武田社ワクチン（ノババックス）は、対象が18歳以上であり、40歳未満でアレルギーを理由に新型コロナワクチンを接種できなかった者が、新たに接種できるようになる。

※参考 アストラゼネカ社ワクチン接種実績 約9,000人（4月20日時点で2回目を接種した人数）

武田社ワクチン（ノババックス）の取り扱い

1 基本的な考え方

- 初回（1、2回目）接種及び追加（3回目）接種が対象
- 対象者は限定しないが、主にアレルギーを理由にファイザー社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチンを接種できない者を優先する

2 配分量、今後のスケジュール等

- 現在、国で10,023箱（約10万回分）を確保しており、埼玉県には1,540箱（15,400回分）が割り当てられている。
- 5月9日までに納品登録を行い、5月23日の週から2クールに分けて配送される予定である。

3 国からの配送方法等

- ワクチンの配送か所等について、国から4月6日付事務連絡で以下が示されている。

- ・ 各都道府県において、少なくとも1か所の武田社ワクチン（ノババックス）の接種会場を設置すること
- ・ 納品場所は、各都道府県において各クールごとに最大3か所とすること
- ・ 接種実施機関間でのワクチンの小分け・移送は認めない方針であること

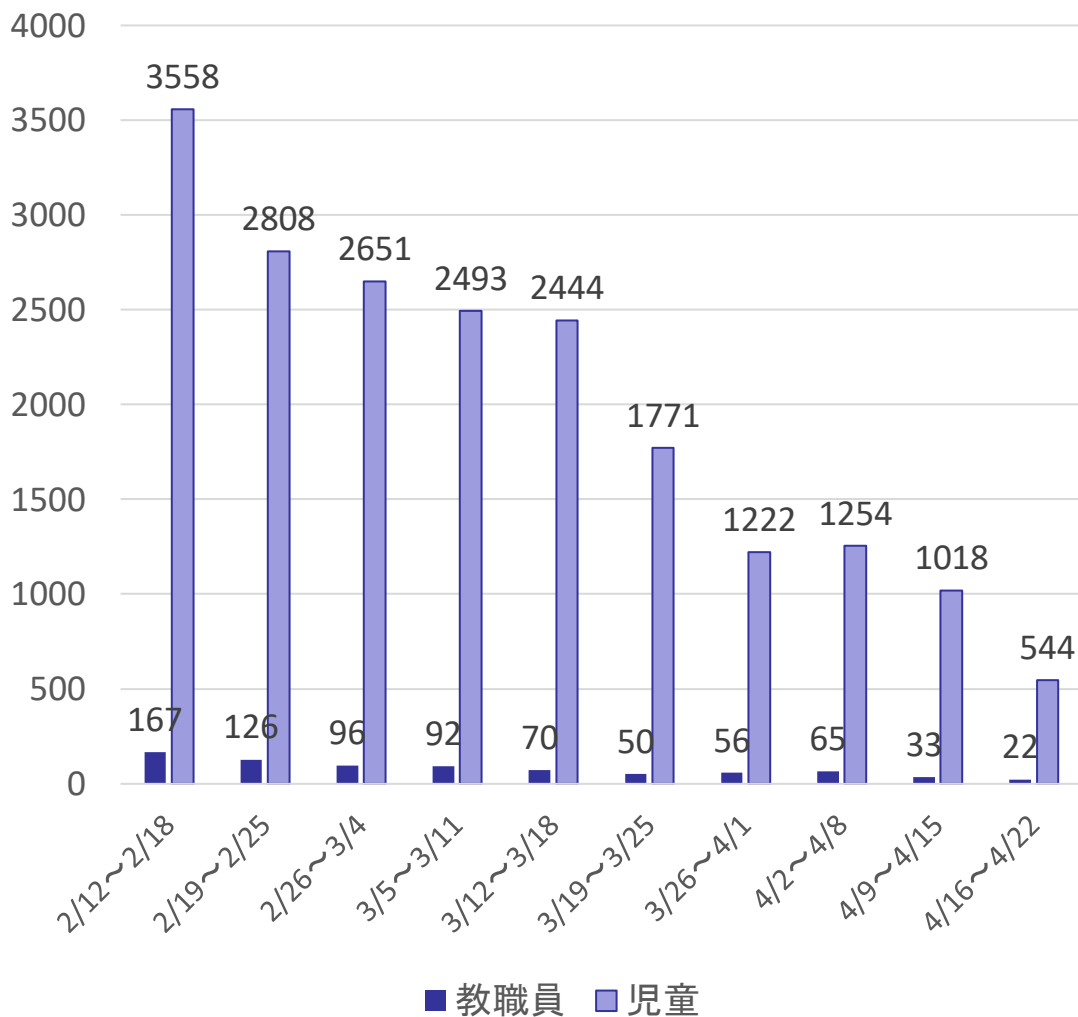


県内の接種会場は最大3か所を想定
4月中に市町村との調整のうえ、接種会場や接種体制を整える

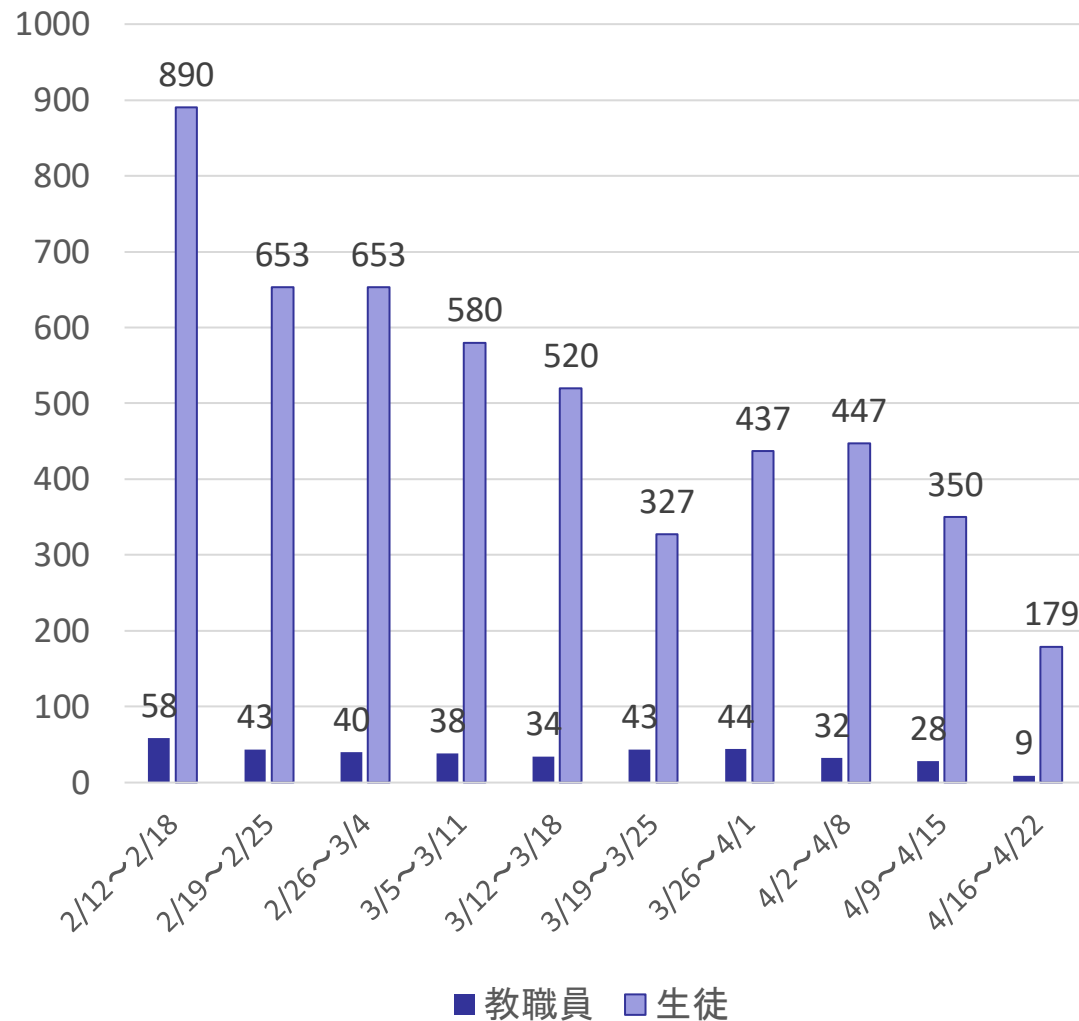
※ さいたま市を除く

新規陽性者の推移（陽性判明日ベース）

（市町村立小学校）



（市町村立中学校）

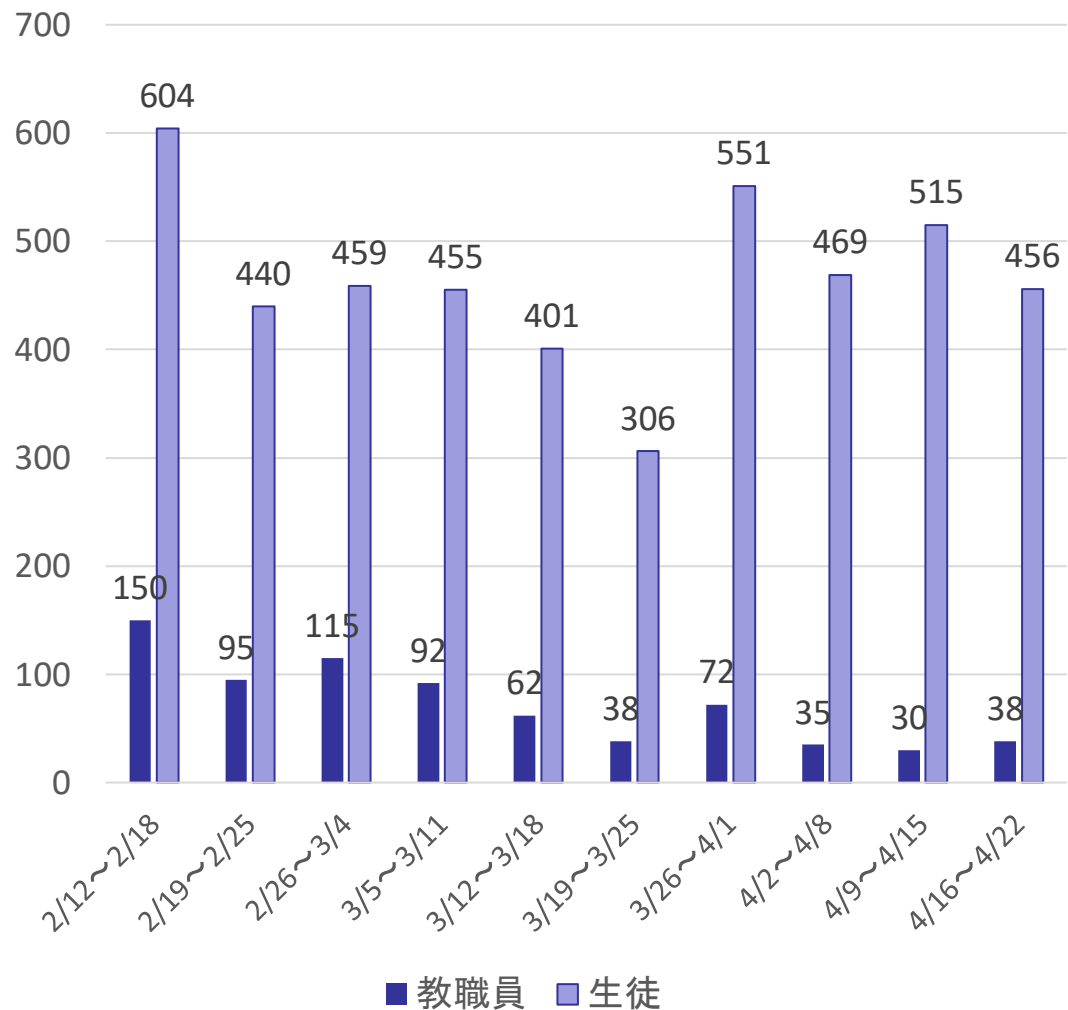


公立学校の感染状況

令和4年4月22日現在

■ 新規陽性者の推移 (陽性判明日ベース)

(県立学校 高校・特別支援学校)

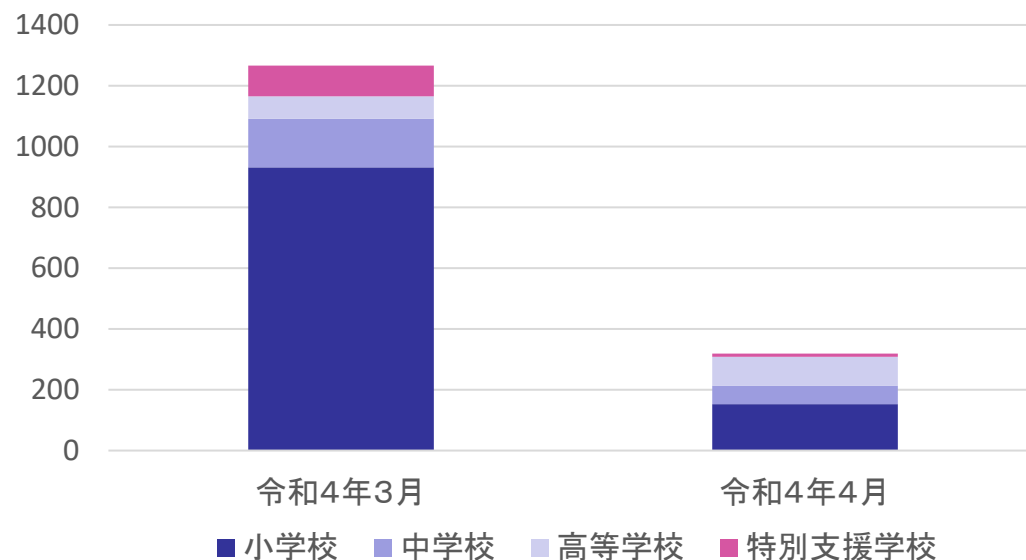


■ 臨時休業の状況(4月)

(件)

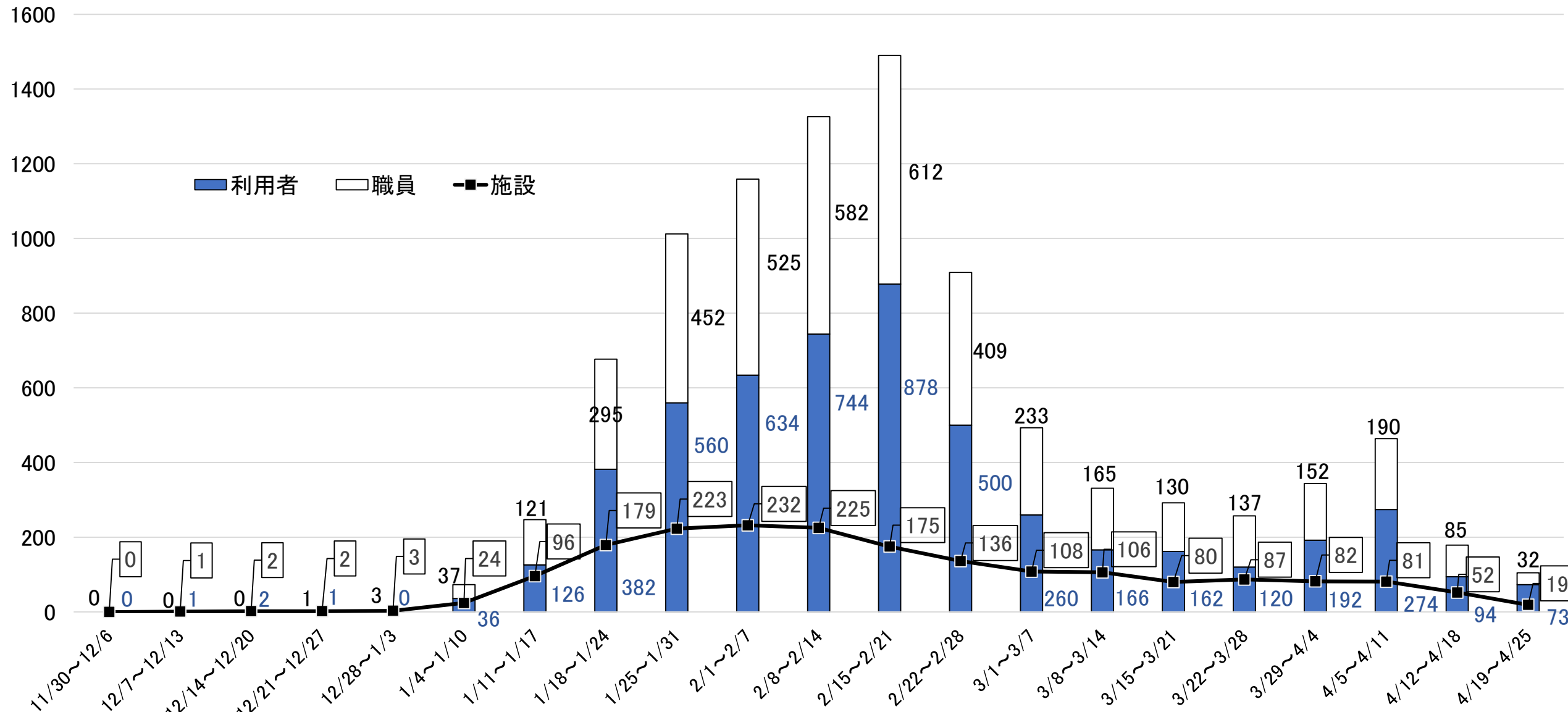
	学校閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖
小学校	1 (3)	17 (87)	135 (841)
中学校	1 (2)	9 (22)	51 (137)
高校	0 (0)	9 (4)	84 (70)
特別支援学校	1 (0)	1 (8)	11 (93)

※表中の数字は4月件数(3月件数)



高齢者施設における感染発生状況(利用者・職員・施設数/週)

(人・施設)



5人以上感染発生施設数

8施設

29施設

43施設

48施設

64施設

42施設

49施設

11施設

6施設

16施設

10施設

13施設

9施設

11施設

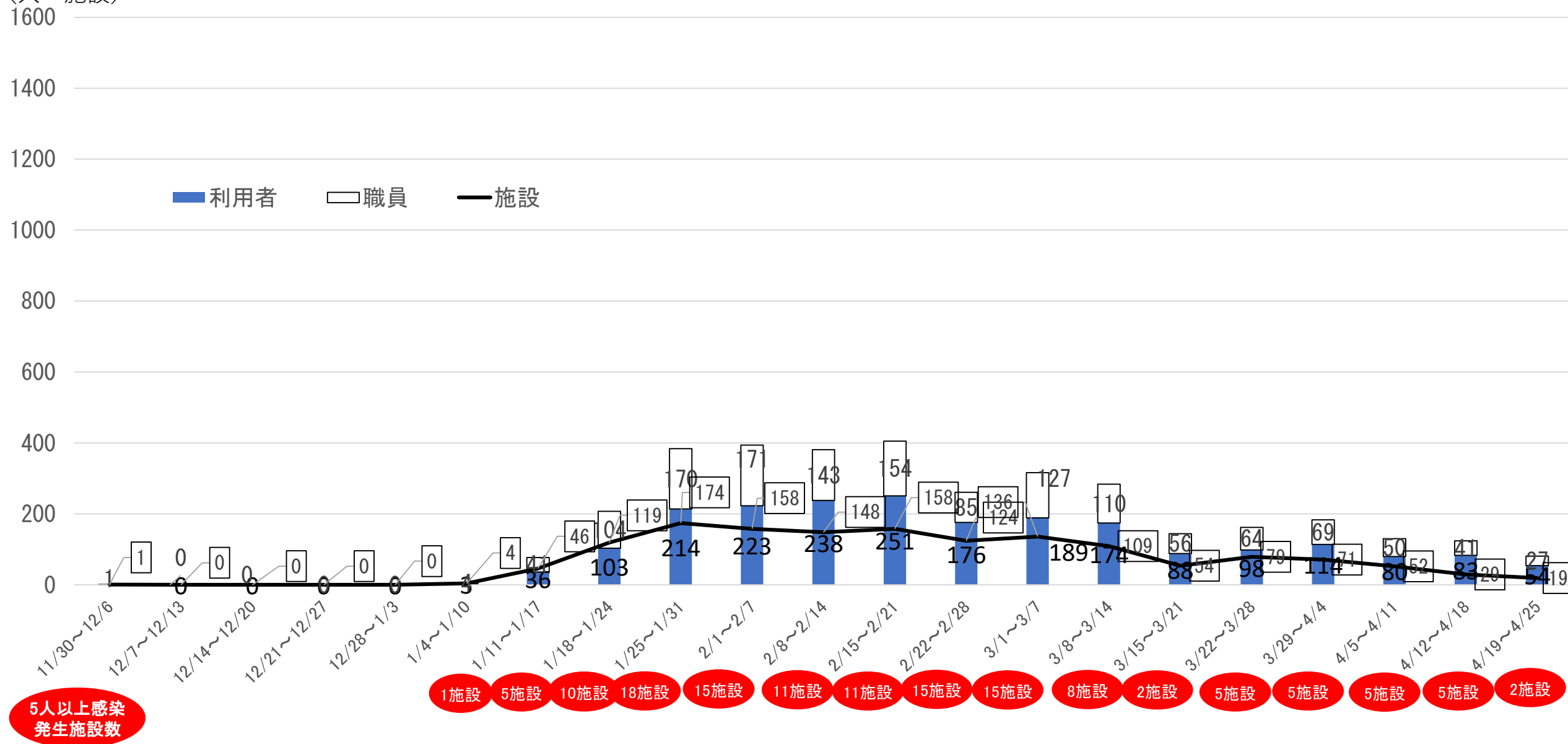
6施設

1施設

障害児者施設における感染発生状況(利用者・職員・施設数/週)

令和4年4月25日現在

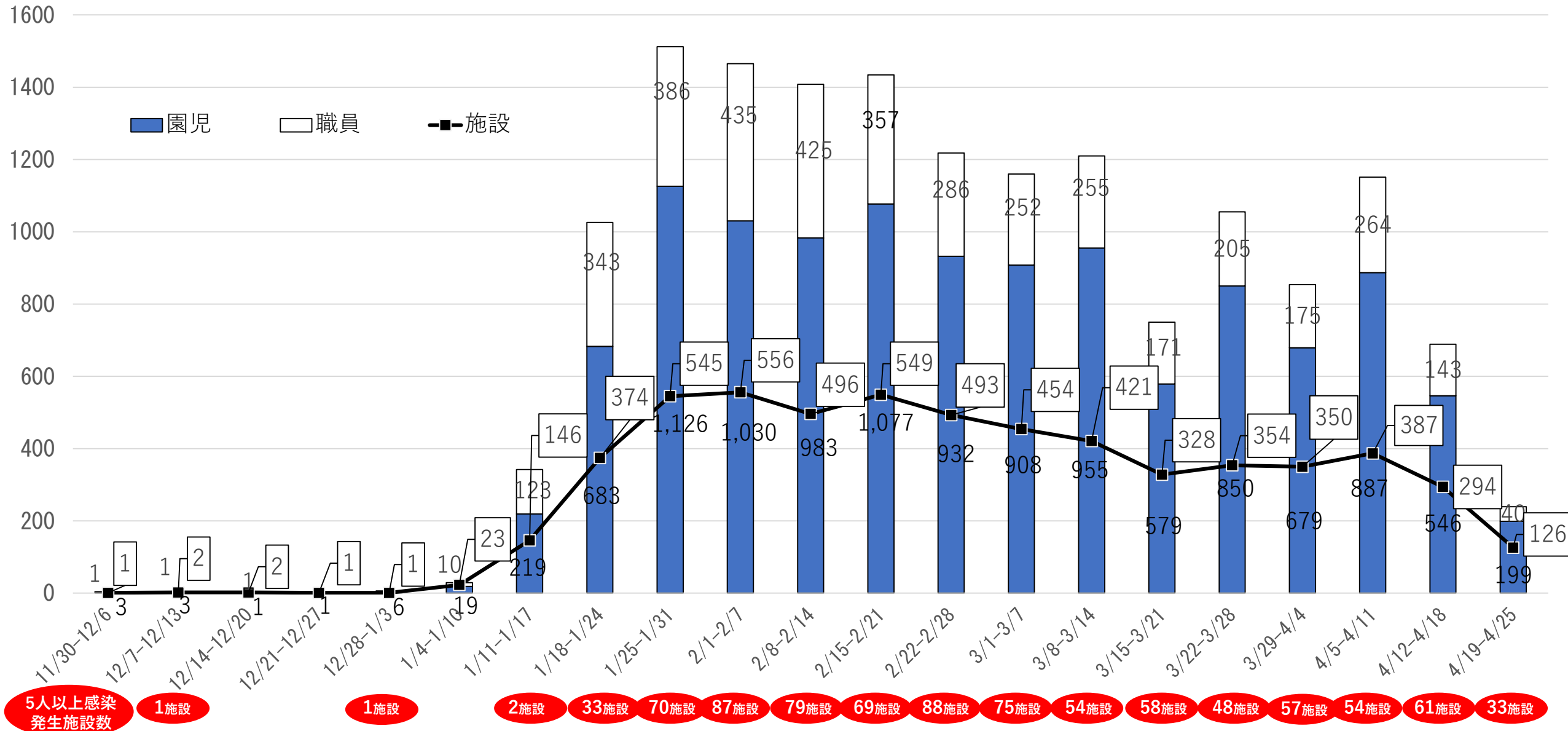
(人・施設)



保育施設における感染発生状況(園児・職員・施設数/週)

令和4年4月25日現在

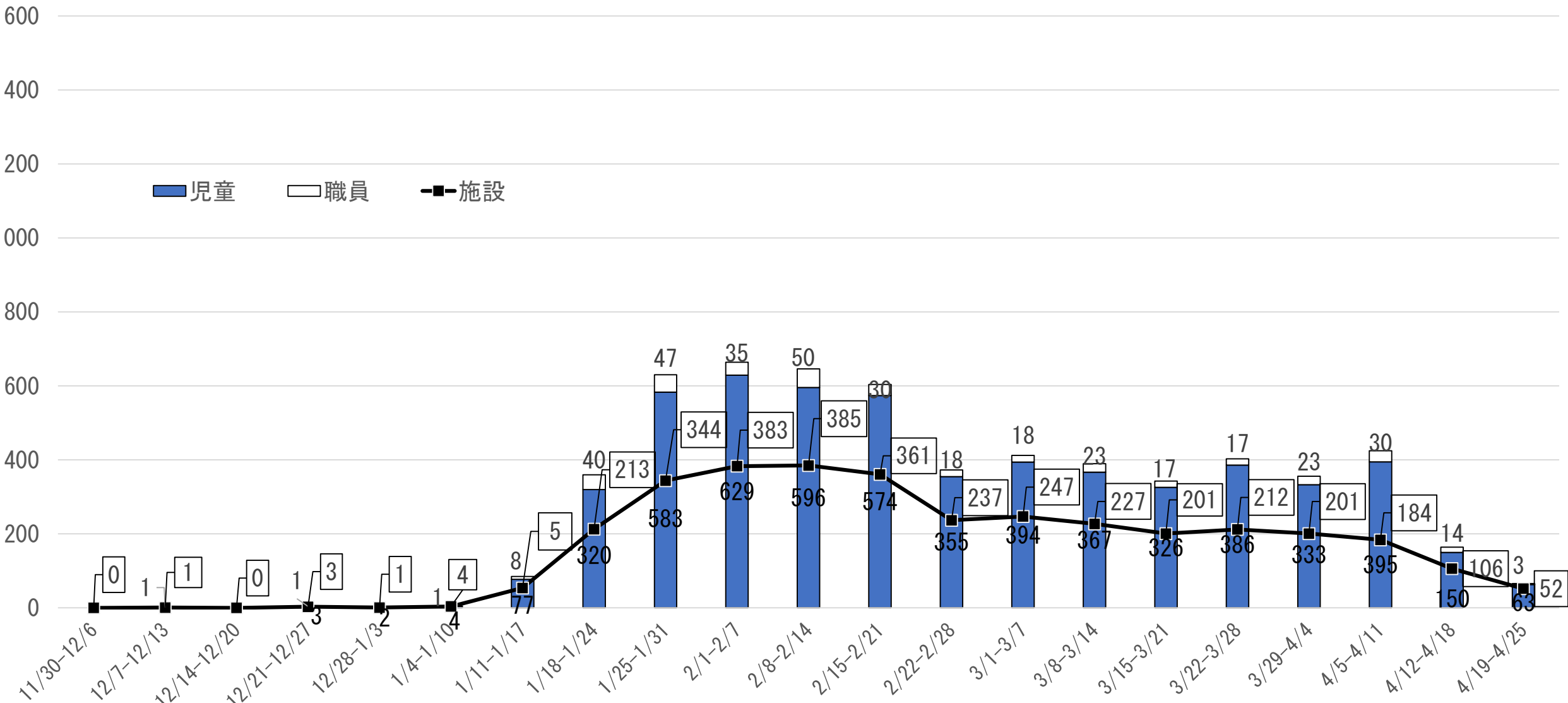
(人・施設)



放課後児童クラブにおける感染発生状況(児童・職員・施設数/週)

令和4年4月25日現在

(人・施設)



5人以上感染発生施設数: 2施設, 13施設, 26施設, 27施設, 20施設, 25施設, 10施設, 12施設, 12施設, 18施設, 8施設, 6施設, 22施設, 5施設, 2施設

福祉施設への看護師派遣(リリーフナース)

資料 19 - 2

クラスター発生施設への支援

	種別	実施月	派遣延べ人数	陽性者(累計)
1	サ高住	1月(1日間)	2人	職員10人、利用者24人
2	特養	1月(2日間)	5人	職員32人、利用者68人
3	ショートステイ	2月(7日間)	9人	職員5人、利用者7人
4	特養	2月(3日間)	4人	職員10人、利用者17人
5	有料老人ホーム	2月(4日間)	7人	職員8人、利用者22人
6	特養	3月(11日間)	15人	職員9人、利用者20人
7	グループホーム	3月(3日間)	4人	職員1人、利用者5人
8	障害者支援施設	3月(4日間)	4人	職員2人、利用者7人
9	特養	3月(6日間)	8人	職員11人、利用者16人
10	サ高住	3月(15日間)	16人	職員5人、利用者6人
11	有料老人ホーム	3月(6日間)	9人	職員6人、利用者11人
12	有料老人ホーム	4月(8日間)	8人	職員4人、利用者13人
13	一時保護所	4月(6日間)	6人	職員4人、利用者9人
14	ショートステイ	4月(3日間)	3人	職員8人、利用者14人
15	グループホーム	4月(1日間)	1人	職員3人、利用者9人
計	15施設	80日間	101人	

1施設当たり平均5.3日間

看護師の人員の拡充

令和3年度

令和4年度

看護師6人
(高齢者、障害者施設)

看護師8人
(高齢者、障害者、
児童施設)

施設からの評価

- ・現場はとても勉強になり、感謝している。看護師さんはとても親身になってくれた。今後にしっかり活かしたい。(ショートステイ)
- ・リリーフナースの力を借りられたことをとても感謝している。施設内療養を支えてもらい、安心できた。(特養)



リリーフナースの活動

- ・感染拡大防止の指導
- ・入所者の療養支援 等

ゴールデンウィークの 診療・検査体制について

ゴールデンウィーク期間中の発熱時における医療提供体制について

ゴールデンウィーク期間中の発熱時の受診方法は次のとおりです (4/29~5/5)

① 埼玉県指定 診療・検査医療機関検索システムで医療機関を検索

埼玉県診療・検査医療機関

検索

② 受診先が見つからない場合は、埼玉県受診・相談センター等に御連絡ください



ゴールデンウィーク期間中の検査体制の強化について

(埼玉県検査等無料化事業)

資料21

GWに安心して旅行・帰省やイベントに参加できるよう、出発前に新型コロナウイルス感染症の検査を受けられる体制の強化を図ります。

	南部会場(さいたま市)	東部会場(越谷市)	けやき台会場(所沢市)
会場	JR大宮駅 (大宮駅西口1階西口交番前)	南越谷ラクーン (南越谷駅・新越谷駅 徒歩3分)	所沢保健所跡地 (航空公園駅、西所沢駅 徒歩13分・ 駐車場有)
開設期間	4月28日(木) ~ 5月8日(日)	4月29日(金) ~ 5月8日(日)	4月26日(火) ~ 6月30日(木)
開設時間	全日 10:00 ~ 18:00	全日 10:30 ~ 19:00	全日 9:00 ~ 17:00
検査の種類	抗原定性	抗原定性	抗原定性、PCR

※ 詳しくは、埼玉県ホームページを御覧ください。

埼玉県 検査無料

検索



今後の経済活動について

さいたまスーパーアリーナにおける主なイベントの開催状況

コンサート

- ・ ほぼ毎週末開催（幅広いジャンルのアーティスト、室内ロックフェスティバルなど）※来場者数は1万人～2万人
- ・ 来場者は大声を出さず、拍手による鑑賞など感染防止対策を守っている。
- ・ 今後も、入退場口の増設、時差入退場、歓声や掛け声の自粛などの感染防止対策を徹底する。

格闘技

- ・ 4月9日(土)に開催されたボクシング世界ミドル級王座統一戦では、来場者は基本的にルールを守って観戦していたが、日本人選手への応援コールや散発的な声援があった。
- ・ 今後も、大声の発声が無いよう掲示物や場内放送による注意喚起、巡回などにより対策を徹底する。
(今後の予定)6月7日(火) ボクシング(世界バンタム級王座統一戦[井上尚弥選手])
6月12日(日) プロレス(CyberFight Festival 2022)

飲食イベント

- ・ 開催日時 5月12日(木)～15日(日)「けやきひろば春のビール祭り」
- ・ ①会場内の人数制限、②入退場口の分離、③全テーブル指定の入替制、④テーブルを4人席又は2人席に制限、⑤入替時間毎にテーブル・椅子を消毒するなど感染防止対策を実施する。

県営公園の感染防止対策

1 花見対応の結果

(主な取組) ① 係員の巡回や放送、看板によるお花見宴会(同居家族等を除く)の自粛のお願い

② 園内の通行規制や一方通行化、イベントや夜間ライトアップの中止

(結果) ・ レジャーシート等を広げ飲食する来園者のほとんどは家族等で大きな混乱はなかった。
 ・ お花見宴会をしている利用者は若干いたが、係員の注意により中止してもらった。

2 GW期間の対策

・ 基本的な感染防止対策に加え、引き続き宴会は自粛するよう注意喚起する。

・ 屋内施設の入場者数に上限を設定【所沢航空発祥記念館(300人)、さいたま水族館(400人)、こどもの城(こども動物自然公園内、150人)】

埼玉スタジアム2002における主な試合開催状況(浦和レッズ、日本代表戦 3/29以降)

引き続きJリーグガイドラインに基づく感染防止対策を実施する。

月	日	曜日	名称	会場	規模 (制限人数、[]実績)
3	29	火	日本代表戦 ワールドカップアジア最終予選(ベトナム)	埼玉スタジアム 2002 (収容人数63,700人)	制限なし [44,600人]
4	6	水	浦和レッズ リーグ戦(清水)		制限なし [18,757人]
5	13	金	浦和レッズ リーグ戦(広島)		制限なし
5	18	水	浦和レッズ リーグ戦(横浜FM)		制限なし
5	21	土	浦和レッズ リーグ戦(鹿島)		制限なし
6	18	土	浦和レッズ リーグ戦(名古屋)		制限なし

観光応援キャンペーン・Go To Eat 食事券実績（令和4年4月22日現在）

項目	【1】とくとく埼玉！ 観光応援キャンペーン 【県単（臨時交付金）】	【2】旅して！埼玉割 観光応援キャンペーン 【国庫10/10（観光庁）】	【3】Go To Eat 食事券 【農林水産省実施事業】
制度	宿泊旅行に対し最大3,000円分の 観光クーポンを配布	宿泊・日帰り旅行に以下の支援 (1)代金割引:50%（上限:5,000円） (2)地域観光クーポン:2,000円	プレミアム付食事券の販売 (1)販売価格:1万円 (2)プレミアム率:20% (3)発行数:677,068冊
対象	全都道府県民 (10万人分(30万枚))	県民及び隣接都県民等 (43万人分(86万枚)) ※東京都民は対象外 ※ワクチン・検査パッケージによる 確認が必要	【購入者】 制限なし 【利用店舗】 彩の国「新しい生活様式」安心 宣言飲食店+(プラス)の認証を 受けている県内約9,200店舗
事業 期間	4月2日～5月31日 ※ゴールデンウィーク(4月29日～5月8日)は対象外(クーポンの利用は可能)		4月5日(販売再開日)～5月31日 (販売期間は4月30日まで)
予算額	3億3,703万2千円	30億9,608万2千円	(発行額:81億2,481万6千円)
実績	クーポン配布枚数 【1】とくとく配付枚数(暫定):128,830枚/300,000枚 配布率約42.9% 【2】埼玉割配布枚数(暫定):41,370枚/860,000枚 配布率約4.8%		販売数:129,703冊 (予約中:9,344冊、発券済:120,359冊) 販売率(販売数/発行数):約19.2%
対象 施設	割引対象・クーポン配布施設:167施設(ホテル・旅館等) クーポン利用可能施設:2,514施設(土産店・飲食店等) ※令和4年4月25日現在		—

県制度融資の利用状況（融資条件等は令和4年度の要件）

資料23-2

資金名	経営安定資金	うち 知事指定業種 【原油・原材料高特例】
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響を受け売上高が20%以上減少している事業者 ・業況の悪化している指定業種を営み、売上高が5%以上減少している事業者 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・原油・原材料価格の高騰を受け、利益率が5%以上減少している事業者
融資限度額	8,000万円	8,000万円
融資利率	0.8～1.0% (一部要件は0.9～1.1%)	0.6～0.8%
令和3年度以降 の利用状況 (令和4年4月22日現在)	(保証申込) 1,827件 258億円 (保証決定) 1,369件 158億円	(保証申込) 413件 86億円 (保証決定) 321件 54億円

- I Withコロナ・ポストコロナに加えて、ウクライナ危機による原油価格、原材料高騰への対応が急務
- II 今後の経済対策の方向性を「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」で議論（令和4年4月27日（水））

経済委員会議 (3/15)

- ① コロナへの対応はこれまでの取組を継続
- ② ウクライナ危機によるコスト高騰対策が当面の課題
- ③ 課題解決が困難な構造的な問題が存在
 - ・ 中小企業にとっての価格転嫁の難しさ
 - ・ 雇用の非流動性

「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」(4/27)

I 本県経済の現状分析

県内中小企業緊急WEBアンケート など

II 今後の経済対策

- G o T o 関連など観光事業者、飲食店への支援
- スライド条項など価格転嫁の円滑化支援
- 原油原材料価格の高騰に対応した取組支援

など

III 構造的な課題

- 価格転嫁の円滑化
- 雇用の流動性確保

など

IV 部会の設置

- IIIで掲げた課題を検討する部会を設置

国の動き

社会経済活動の順調な回復に向けて「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を本日政府決定

- ・ 一般予備費やコロナ予備費を活用し、迅速な対応を優先

4つの柱

- ① 原油高騰価格対策
- ② エネルギー・原材料・食料等安定供給対策
- ③ 新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等
- ④ 生活困窮者等への支援